

令和7年10月15日  
淀川本川河川保全利用委員会  
資料3

## 令和7年度 審議対象案件の占用施設説明書

## 目 次

10. 河川敷グラウンド(自然広場) (東淀川区) ・	1
71. 淀川河川敷十三エリア (淀川区) .....	17
9. 運動場 (常翔学園) .....	36
12. 淀川河川敷グラウンド (枚方市) .....	49
1. 伝法北公園 (大阪市) .....	64
2. 淀川公園 (大阪市) .....	71
8. 公園 城北緑道 (大阪市) .....	79

10. 河川敷グラウンド(自然広場)  
(大阪市東淀川区)

記入者：  
(東淀川区役所)

ランク：A

番号	10. 河川敷グラウンド (自然広場)	占用目的	運動場	許可受者	大阪市 東淀川区	場所	右岸 8.8k+ 50m~9.0k
----	------------------------	------	-----	------	-------------	----	----------------------

1. 施設の概要

(占用者作成)

位置図		現況写真	
現在の 利用形態	グラウンド1面	都市計画 の有無	無
占用面積	6150.00 m <sup>2</sup>	付帯施設 等	ベンチ ポール (バックネット用)
許可の 経緯	<当初許可> S55.5.14 <許可期限> R9.3.31	利用者数	令和2年 25,224人 令和3年 21,906人 令和4年 20,619人 令和5年 21,181人 令和6年 19,769人 (別紙1参照)
堤内地・堤 防・堤外地	堤内地 ・ 堤防 ○ 堤外地		
周辺の 土地利用 の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堤外地の上流側と下流側に隣接しているグラウンドは自由使用地となっている。</li> <li>・ 河川側は干潟の造成地となっている。</li> <li>・ 堤内地は、第一種住居地域になっており、住宅を中心に事業所等も立地する密集市街地を形成している。</li> </ul>		
関連諸計 画におけ る占用地 の位置付 け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大阪市地域防災計画で、避難圏域を東淀川区・淀川区とする「十三柴島広域避難場所」の一部として指定されている。(別紙2参照)</li> <li>・ 災害時のヘリポートとして位置づけられている。</li> </ul>		
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置年月日 昭和55年5月14日</li> <li>・ 昭和53年当時、東淀川区内では、少年野球が従前にもまして盛んになっており、広場を使用するスポーツができる場所の確保に窮する状況だった。</li> <li>・ 淀川河川敷で日常的にスポーツが行われていたが、自由使用であるためトラブルが絶えなかった。そこで大阪市が手続きを踏んで近畿地方整備局より許可を受け本日まで利用している。</li> <li>・ 昭和55年に使用を1年間として許可を得て、以降毎年更新されていた。現在は3年更新になっている。</li> </ul>		

ランク：A

番号	10. 河川敷グラウンド (自然広場)	占用目的	運動場	許可受者	大阪市 東淀川区	場所	右岸 8.8k+ 50m~9.0k
----	------------------------	------	-----	------	-------------	----	----------------------

## 2. 施設の現状

(占用者作成)

占用の 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>東淀川区は、昭和 49 年の分区以降、住宅地としての開発が進み、推計人口 177,757 人（令和 7 年 8 月時点）を有する大きな区に発展するなか、空き地や自然環境が著しく減少し、屋外型のスポーツ施設はテニスコート等があるだけである。</li> <li>住民一人当たりの都市公園の敷地面積の標準を 10 m<sup>2</sup>と国が定めていることに対し、大阪市の平均は 3 m<sup>2</sup>と下回っており、極めて公園が不足している状況にある。</li> <li>占用を行い、自然広場を設置することにより、淀川の豊かな自然と環境に親しめ、スポーツ・レクリエーションを行う場として区民に供することができる。</li> </ul>	
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理主体として、平成 21 年 3 月 3 日に自然広場管理運営委員会を設立し、同規約及び自然広場利用要綱を策定し、管理運営を行っていた。平成 30 年 4 月 1 日付で河川敷グラウンド管理運営委員会に名称を変更した。</li> <li>河川敷グラウンド管理運営委員会が中心となって施設を含め清掃や除草を行っており、また近畿地方整備局の許可（工作物の施行届）を得て、グラウンドの盛土を行うなど施設の維持管理に努めている。</li> </ul>	
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川敷グラウンド利用要綱を規定し、広く区民が利用できるよう公共性・公益性を確保した利用を確立している。</li> <li>区内の利用者がいない日は、運営委員会の承認の下、区外利用者にも開放している。</li> </ul>	
前回審議の 意見と対応	前回審議の意見	前回審議意見の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営委員会を組織して管理しているということがわかった。委員会ではどのようなことを審議しているか。</li> <li>利用と保全、良い取り組みであり引き続き取り組んでほしい。</li> <li>管理運営委員会ですいろいろ検討しているところと思うが、委員会で作成している保全利用指針は参考になる事例等も記載してあるので活用してほしい。</li> <li>近傍に干潟など良好な「川ならではの」環境がある。すばらしい自然を活用してほしい。</li> <li>外来種の繁茂や敷地の段差などもあり、河川管理者と協働で対策されるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営委員会では河川敷グラウンドの使用状況等について審議し、事例の共有や適正な利用に努めている。</li> <li>東淀川区の魅力の一つである淀川河川の環境保全を目的として、淀川管内河川レンジャーと共催で、淀川右岸クリーン大作戦として東淀川区管内の淀川河川敷において清掃活動を実施し、河川敷の美化を図るとともに、清掃活動を通じて淀川河川に対する魅力の向上及び親近感の増進を図っている。（別紙 3 参照）</li> </ul>
環境保全に向けて申請者の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 25 年台風 18 号の影響により、土が流れて石がむき出しになり、施設の使用目的を果たさない状況になってしまったので、土入れをし、整地を行った。</li> <li>また、自然の雨風に伴い土が少なくなっているため、平成 29 年度に 2 度、令和 4 年に 1 度土入れを行った。</li> <li>必要に応じて、土日の早朝に草刈を行っている。</li> <li>淀川右岸クリーン大作戦として、淀川河川敷の清掃活動を年 1 回程度実施している。（1 回につき 150 名程度動員）</li> </ul>	
その他		

ランク：A

番号	10. 河川敷グラウンド (自然広場)	占用目的	運動場	許可受者	大阪市 東淀川区	場所	右岸 8.8k+ 50m~9.0k
----	------------------------	------	-----	------	-------------	----	----------------------

### 3. 施設の自然環境的状况

(河川管理者作成)

<p>占用地及び周辺の 自然環境</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該占用地の前面水域は感潮区間であり、干満によって水際が変化する。</li> <li>・当該占用地の前面では、干潟再生実験が行われており、干潟としての機能を有している。</li> <li>・干潟の周辺には、ヨシ群落が定着しており、適度なバッファゾーンとなるとともに、鳥類の営巣場となっているとみられる。</li> <li>・干潟の湾入部を中心にカモ類の集団越冬地となっている。</li> <li>・背後地は柴島浄水場であり、人家は離れている。</li> </ul>
<p>自然環境上重要な場所</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・占用地は淀川大堰の下流であり淀川の感潮区間に位置し、前面に造成された干潟はシギ・チドリ類の重要な生息場となっている。</li> <li>・干潟付近に広がる流れの緩やかな水域は、カモ類の集団越冬地となっている。</li> <li>・注目すべき種（鳥類）が確認されている。</li> </ul>
<p>水際の 状況</p>	<p>水域までの 距離</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水域までの距離：約 60~70m</li> <li>・河岸は水際まで緩やかな土羽となっている。</li> <li>・水際は近年造成された干潟であるため、植生については現在回復過程にあるとみられる。</li> <li>・水際にヨシ等がみられる。</li> <li>・水際まで容易に近づける動線がある。</li> </ul>
	<p>水面との 高低差</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約 2~3m</li> </ul>
<p>環境面から見た 望ましい利用方針</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・占用地の前面には干潟（下図参照）が位置しているから生物への影響に配慮し、運動場として利用しているエリアを、水際から一定距離を離して設定するとともに、干潟との間に、自然植生による緩衝帯を保全・形成する。</li> <li>・冬季を中心としたカモ類の飛来時期には、特に上下流のカモ類の集団越冬周辺では、生物の忌避行動につながるような行為（河岸に近づく、大きな音を出すなど）は避ける必要があり、利用者に看板等で注意を促す。</li> <li>・干潟周辺では、繁殖の可能性のあるチドリ類が確認されているため、特にこれらの繁殖期である春~夏にかけては干潟への進入を避ける必要があり、利用者に看板等で注意を促す。</li> <li>・昆虫等の生息域となる自然環境を広げるために、占用範囲周辺にある、占用者が除草等の管理を行う管理区域等の草地の刈り残しを図る。</li> <li>・利用範囲認知のために、占用範囲を看板、標識等により占用範囲を明示する。</li> <li>・環境啓発看板を設置し、利用者に周辺の貴重な環境を周知し、占用区域内での利用の遵守や環境保全への意識向上を図る。</li> <li>・環境啓発の一環として利用施設周辺の清掃を行う。</li> <li>・利用者の河川の環境保全に関する意識向上を目的として、河川レンジャーと連携した環境教育のあり方を検討する。</li> </ul>

ランク：A

番号	10. 河川敷グラウンド (自然広場)	占用目的	運動場	許可受者	大阪市 東淀川区	場所	右岸 8.8k+ 50m～9.0k
----	------------------------	------	-----	------	-------------	----	----------------------

**4. 占用許可期間の更新についての意見**

(委員会作成)

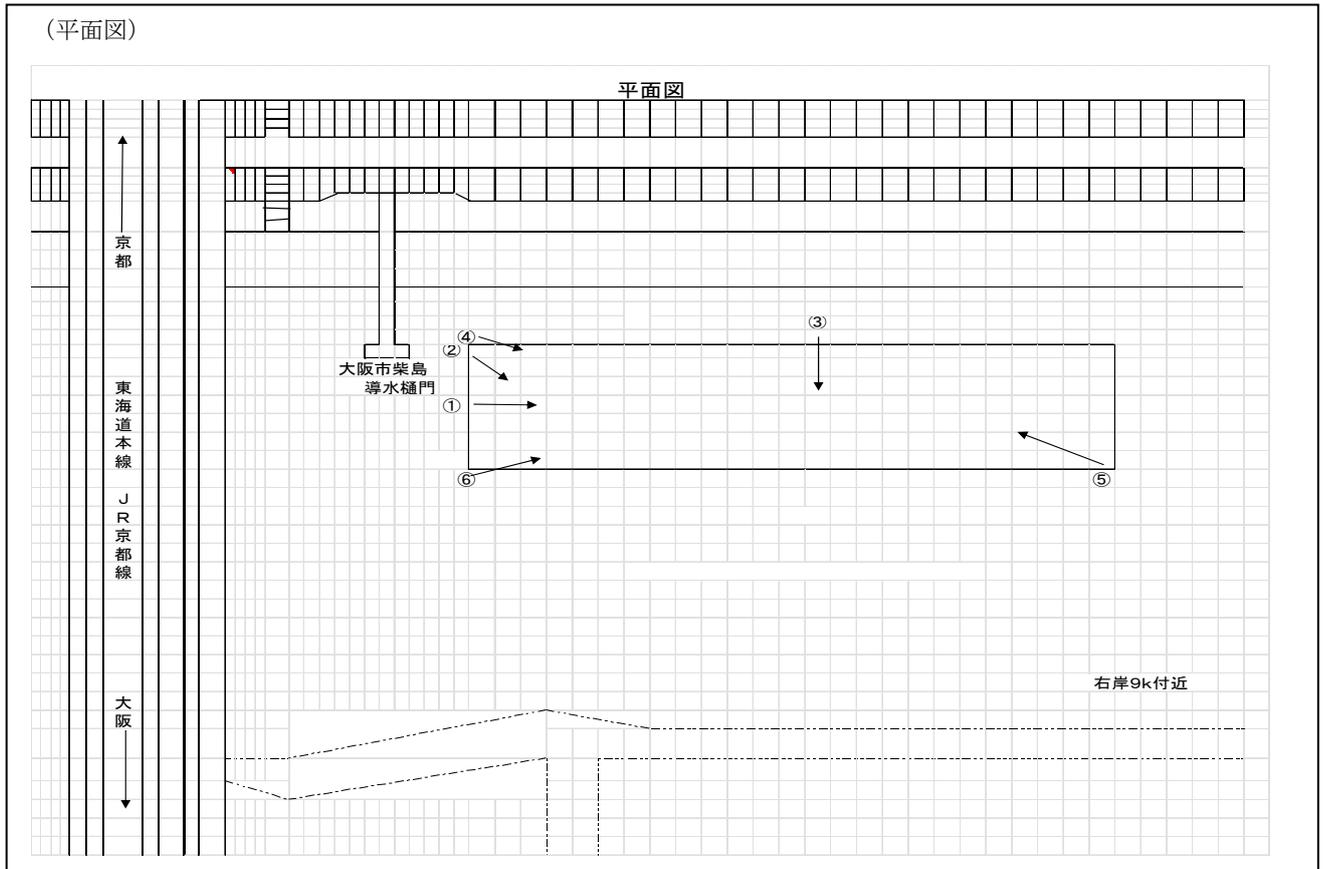
ランク：A

番号	10. 河川敷グラウンド (自然広場)	占用目的	運動場	許可受者	大阪市 東淀川区	場所	右岸 8.8k+ 50m~9.0k
----	------------------------	------	-----	------	-------------	----	----------------------

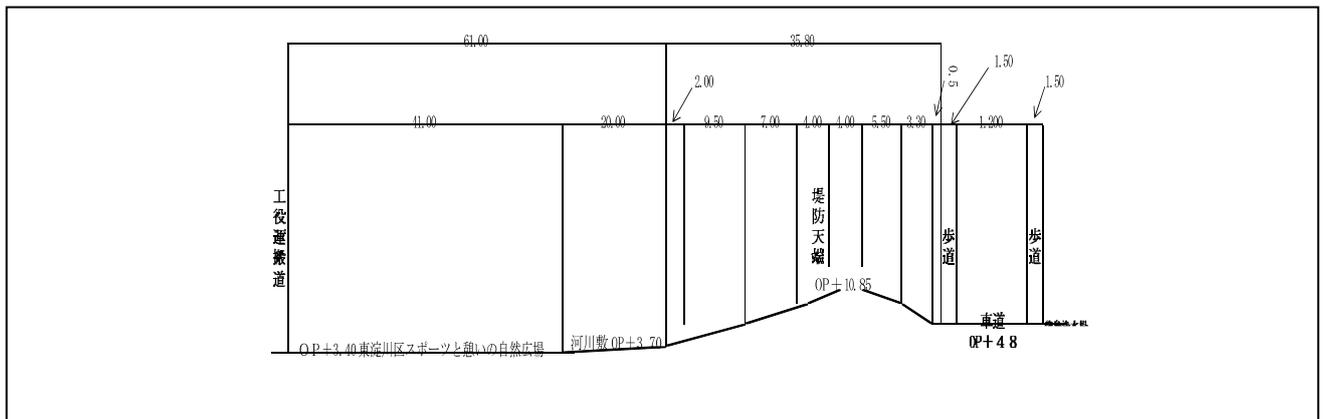
5. 委員会の審議内容に関わる現況写真

(写真撮影者：占有者)

(平面図)



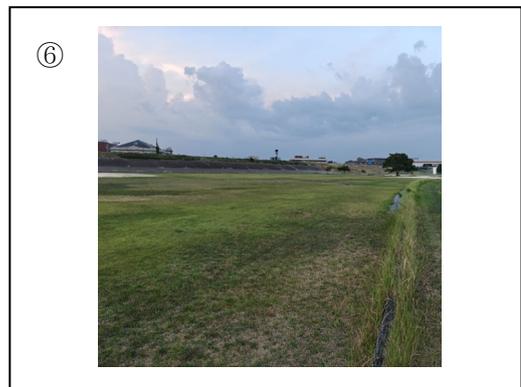
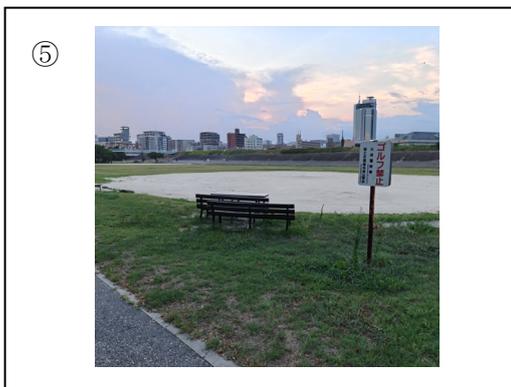
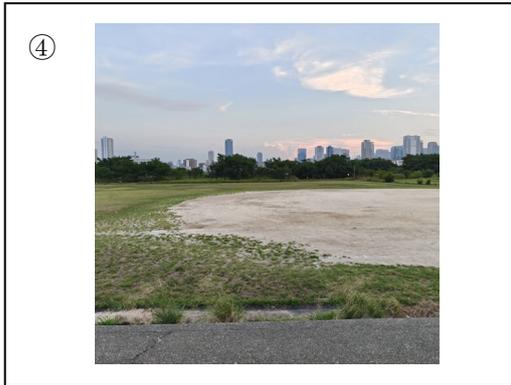
(横断面図)



ランク：A

番号	10. 河川敷グラウンド (自然広場)	占用目的	運動場	許可受者	大阪市 東淀川区	場所	右岸 8.8k+ 50m~9.0k
----	------------------------	------	-----	------	-------------	----	----------------------

(占有者作成)



令和7年8月撮影

## 【チェックリスト】

Aランク案件のチェックリストの様式(1/2)

●河川保全利用チェックリスト(占有地 名称:10河川敷グラウンド(自然広場))

記入者:(東淀川区役所)

No	確認の視点	確認事項	過年度意見	過年度意見についての対応と進捗	占有者による確認	河川管理者による確認	河川保全利用委員会の意見	評価区分	備考
1	占用の必要性	確認事項 自治体等が決定する計画に当該施設の位置づけはあるか ※計画名を挙げたうえ、具体的な記載箇所を必ず (例)総合計画、都市計画、緑の基本計画等						○:ある △:検討中 ×:ない	
2		避難場所等の防災上の位置づけはあるか (例)地域防災計画等						○:ある △:検討中 ×:ない	
3		堤内地において代替施設を設置、又は既存施設により機能を代替する計画はあるか						○:ある △:検討中 ×:ない	
4		川らしい自然環境に影響が少ない施設に転換する計画はあるか (例)水際の占有面積を縮小 ・グラウンドを親水公園に変更 ・河川敷内で場所移動						○:ある △:検討中 ×:ない	
5	検討体制	占有施設の代替地の検討や自然環境に影響が少ない施設への転換に向けて、環境やまちづくりの関係部局と連携しているか ※連携部局がある場合には、その名称も合わせて記す						○:連携している △:検討中 ×:連携していない	
6	占有目的	占有目的は「川らしい利用、川でなければならぬ利用」に合致するか						○:合致する △:一部合致する ×:合致しない	
7		特定の利用者・団体に限定せず、公平な利用ができるか						○:公平に利用できる △:公平に利用できない場合がある ×:特定の者が利用	
8		利用状況は占有目的に合致しているか						○:合致している △:合致していない場合がある ×:合致していない	
9	連携体制	「川らしい利用、川でなければならぬ利用」に関する取組について、施設利用者や地域住民、市民団体等と連携しているか	管理運営委員会でいろいろ検討しているところと思うが、委員会で作成している保全利用指針は参考になる事例等も記載してあるので活用してほしい。	河川敷グラウンド運営委員会で事例等の共有に努める				○:連携している △:検討中 ×:連携していない	
10	自然環境の保全・再生	保全すべき動植物など、占有区域及びその付近の自然環境で配慮すべき事項を把握しているか (例)貴重種の生育・生息地、ヨシ原、干潟、野鳥の営巣地、外来種の繁殖等	淀川に干潟など良好な「川ならぬ」環境がある。すばらしい自然を活用してほしい。	淀川の豊かな自然環境に親しむ場として使用する。すばらしい自然を活用してほしい。				○:把握している △:調査中 ×:連携していない	
11		占有区域及びその付近において、水位変動により冠水・攪乱される区域を把握しているか						○:把握している △:調査中 ×:連携していない	

Aランク案件のチェックリストの様式(2/2)  
 ●河川保全利用チェックリスト(占用地 名称:10河川敷グラウンド(自然広場))

No	確認の視点	確認事項	過年度意見	過年度意見についての対応と進捗	占有者による確認	河川管理者による確認	河川保全利用委員会の意見	評価区分	備考
12		施設整備は河川の生態系の連続性(縦断方向及び横断方向)の確保など自然環境に配慮しているか (例)水際部に緩衝緑地を設置等						○:配慮している △:検討中 ×:配慮していない	
13		管理運営は占用区域及びその付近の自然環境の保全・再生に配慮しているか (例)投棄されたゴミの収集、除草時の水際部刈り残し、野鳥の営巣時期の利用制限等						○:配慮している △:検討中 ×:配慮していない	
14		施設利用者に占用区域及びその付近の自然環境に関する情報発信、注意喚起を行っているか (例)情報板設置による環境配慮への啓発等						○:行っている △:検討中 ×:行っていない	
15		占用区域及びその付近の自然環境を活かした環境学習・保全活動を行っているか						○:行っている △:検討中 ×:行っていない	
16	適正な利用	不許可の工作物は設置されていないか						○:設置されていない △:設置される場合がある ×:設置されている	
17		占用区域外を使用していないか (例)トイレ、道具入れ等の工作物設置・グラウンド、駐車場等の造成・利用等						○:使用していない △:使用している場合がある ×:使用している	
18		占用施設及びその利用者が自然観察や水面利用(カヌー、釣り等)などを行う河川利用者の水辺へのアクセスの支障になっていないか						○:支障はない △:支障になる場合がある ×:支障がある	
19		地域住民の迷惑になる利用がなされていないか (例)施設利用者によるゴミの投棄、車両通行や路上駐車による交通問題、騒音等						○:迷惑な利用はない △:迷惑になる場合がある ×:迷惑な利用がある	
20		利用状況をふまえた管理運営・利用のルールを定めているか	利用と保全、良い取り組みであり引き続き取り組んでほしい。	毎年、河川敷グラウンド運営委員会を開催し、管理運営に努めている。				○:定めている △:検討中 ×:定めていない	
21		管理運営・利用のルールに自然環境の保全・再生に関する事項は定めているか	外来種の繁茂や敷地の段差などもあり、河川管理者と協働で対策されるとよい。	淀川管内河川レンジャーと共同で淀川右岸クリーン大作戦として、淀川河川敷の清掃活動を年1回程度実施している。(1回につき150名程度動員)				○:定めている △:検討中 ×:定めていない、又はルールを定めていない	
22		管理運営・利用のルールは施設利用者及び管理運営者に周知しているか	運営委員会を組織して管理していることがわかった。委員会ではどのようなことを審議しているか。	河川敷グラウンドの使用状況等について審議している。				○:定めている △:検討中 ×:定めていない、又はルールを定めていない	

## 【参考資料】

## 河川敷グラウンド 利用者数集計表

令和4年度～令和6年度

	年間利用		随時利用		合計
	団体数	利用者数	団体数	利用者数	
令和4年度	2	19,672	4	947	20,619
令和5年度	2	19,672	5	1509	21,181
令和6年度	2	18,480	6	1289	19,769

## 【人数の把握方法】

・利用の届けに利用者数を記載してもらっており、これを集計している。

⇒利用者数は延べ人数

広域避難場所一覧表

令和7年7月14日時点

No.	広域避難場所	避難圏域	全面積 (ha)	避難可能 人数 (万人)	避難できる災害の種類 (○:避難可、×:避難不可)			
					大規模火災	地震	津波	洪水
1	新大阪駅北側	西淀川区、淀川区	31.9	18.4	○	○	×	×
2	鶴見緑地	旭区、城東区、鶴見区	119.7	85.5	○	○	○	×
3	うめきた(一部休止中)*	北区、福島区、中央区、西区	25.3	8.9	○	○	×	×
4	大阪城公園一帯	都島区、中央区、天王寺区、 東成区、生野区、城東区、 鶴見区	119.6	83.7	○	○	○	×
5	靱公園	北区、福島区、中央区、西区	10.1	5.2	○	○	×	-
6	天王寺公園	中央区、天王寺区、浪速区、 生野区、阿倍野区、西成区	12.6	7.0	○	○	○	×
7	千島	大正区	29.7	20.0	○	○	×	-
8	津守	浪速区、西成区	21.9	12.9	○	○	×	×
9	住之江公園一帯	住之江区、住吉区、西成区	33.6	19.3	○	○	×	×
10	長居公園	阿倍野区、住吉区、東住吉 区、平野区	76.5	57.9	○	○	○	×
11	百済貨物ターミナル駅	生野区、東住吉区、平野区	16.7	2.4	○	○	○	×
12	瓜破霊園	東住吉区、平野区	31.1	12.2	○	○	○	×
13	大阪公立大学	住之江区、住吉区	26.2	16.1	○	○	○	-
14	西淀川中島地区	西淀川区、淀川区	14.3	11.1	○	○	×	-
15	八幡屋公園	港区	13.1	8.2	○	○	×	-
16	十三柴島	西淀川区、淀川区、東淀川区	45.3	44.4	○	×	×	×
17	毛馬	都島区、旭区、城東区	11.1	11.1	○	×	×	×
18	豊里	東淀川区	9.8	9.8	○	×	×	×
19	太子橋	旭区	46.3	44.8	○	×	×	×
20	中之島	北区、福島区、中央区、西区	51.1	36.6	○	○	×	-
21	久宝寺緑地	平野区	43.2	36.0	○	○	○	×
22	淀川リバーサイド地区	北区	11.3	6.4	○	○	×	×
23	高見地区	福島区、此花区	38.1	25.4	○	○	×	×
24	城北公園	都島区、旭区、城東区	10.0	5.0	○	○	○	×
25	阿倍野再開発地区	中央区、天王寺区、浪速区、 生野区、阿倍野区、西成区	26.5	14.2	○	○	○	-
26	旭公園一帯	都島区、旭区、城東区	8.5	5.0	○	○	×	×
27	出来島地区	西淀川区、淀川区	12.0	9.0	○	○	×	×
28	南港中央公園	住之江区	20.9	17.6	○	○	×	-
29	沢之町公園一帯	住之江区、住吉区	6.5	4.2	○	○	○	×
30	佃地区	西淀川区、淀川区	7.7	3.7	○	○	×	-
31	浪速公園一帯	中央区、西区、浪速区、西成 区	5.7	4.1	○	○	×	×
32	下福島公園地区	北区、福島区、中央区、西区	8.3	3.7	○	○	×	×
33	巽東緑地	生野区、東住吉区、平野区	4.9	2.9	○	○	○	×
34	蒲生公園一帯	城東区	3.6	1.3	○	○	×	×
合 計			953.1	654.0				

※地震について、河川敷公園(16,17,18,19)は津波来襲時の危険性が極めて高いため、津波の有無に関わらず地震時は「×」

※津波について、南海トラフ巨大地震による津波浸水想定域外の場合は「○」、津波浸水想定域内の場合は「×」

※洪水について、広域避難場所は洪水時の避難先として想定しないため「-」(ただし、洪水(河川氾濫)の浸水想定区域内の場合は「×」)

—2025 大阪・関西万博共創チャレンジ—

## 淀川水系一斉美化アクション

# 淀川右岸クリーン大作戦

みんなで淀川を掃除しましょう！

**東淀川区エリア 参加者大募集！**

2025年  
3月8日(土)  
実施！



**「菅原城北大橋」周辺で清掃活動を行います！**

~~~~どなたでもご参加いただけます！~~~~

日時:2025年3月8日(土)10:00~11:30

受付:9:30~ (※河川レンジャーのぼりを目印にお集まりください)

集合:淀川右岸河川敷「菅原城北大橋」橋脚付近

持物:清掃用具はできるだけご持参ください

(※若干の貸出しもございますが数に限りがございます)

催行:雨天中止(※前日 18 時気象庁天気予報にて降水確率が 70%以上の場合)



【主催】淀川管内河川レンジャー(岸田) 【共催】大阪市東淀川区役所

【支援】国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所

### ■ お問い合わせ ■

大阪市 東淀川区役所(地域課) ☎ 06-4809-9734

淀川管内河川レンジャー事務局 (平日9時~17時)

☎ 072-861-6801

✉ [cyuuou-kasen@nifty.com/](mailto:cyuuou-kasen@nifty.com/)



河川レンジャーについては → <https://www.river-ranger.jp/>

## 【参考資料】 河川保全利用委員会速記録

(関連部分のみ抜粋)

## ■過年度審議結果のレビュー

## 平成16年 委員会

- ✓ そもそもここで野球をやらなければならないのか？
- ✓ 申請者は大阪市東淀川区となっているが、野球連盟に貸しているというのが実態
- ✓ 周辺は河川敷の自然環境として重要な場所であり、配慮した利用が必要

など

## 平成18年 委員会

- ✓ 利用が排他的・独占的で、利用者に丸投げの状態になっている
- ⇒申請者が中心となり、管理組織の設立について検討を進める

## 平成19年 委員会

- ✓ 占有者は施設の利用実態を把握し、利用ルールと仕組みを確立・構築すること
- ⇒自然広場管理運営委員会を設立し、利用ルールを確立した

## 平成20年 委員会

- ✓ 一般の区民が広く利用できるよう、管理組織による取り組みを継続すること。以後、占有期間を3年とする。

## 平成22年 委員会

- ✓ 占用地が公共公物であることを認識し、環境の整備、自然の再生に努められたい。

## 平成25年 委員会

- ✓ 除草剤を使用しないよう、利用要綱に明示されたい。

## 平成28年 委員会

- ✓ 引き続き、スポーツ利用者に河川環境への興味と理解を促す取り組みを継続されたい。
- ✓ 名称について、実際の利用形態に沿うよう、再考を検討されたい。
- ✓ 清掃、除草、施設管理について「実施している」のみでなく「誰が」「どの程度」など、具体的に示されたい。

17

## ■過年度審議結果のレビュー

## 令和元年 委員会

- ✓ スポーツ利用者に対する河川環境への興味と理解を促すような取り組みが、十分に実施されているとは見受けられない。他の事例等を参考に具体的な取り組みを実施されたい。
- ✓ 占用地での環境学習等について、河川管理者が支援を行っているので相談されたい。
- ✓ グラウンドとしての利用は、河川の自然環境に負荷を与えているとの認識を持ち、管理に努められたい。

## 令和4年 委員会

- ✓ 運営委員会を組織して管理しているということがわかった。委員会ではどのようなことを審議しているか。
- ⇒コロナ禍もあり今年度は未開催、前年も書面開催となった。利用状況についての報告、今後の利用予定者の見込み、申し込み状況等についての情報共有、その他意見交換を行っている。
- ✓ 今後も積極的に会議を通じて適正な管理に努められたい。
- ✓ 利用と保全、良い取り組みであり引き続き取り組んでほしい。
- ✓ 管理運営委員会でいろいろ検討しているところと思うが、委員会で作成している保全利用指針は参考になる事例等も記載してあるので活用してほしい。
- ✓ 近傍に干潟など良好な「川ならでは」の環境がある。すばらしい自然を活用してほしい。
- ✓ 外来種の繁茂や敷地の段差などもあり、河川管理者と協働で対策されるとよい。
- ⇒イベント等は出張所でも把握している。情報は共有していくようにしたい。

18

## 71.淀川河川敷十三エリア

記入者：大阪市淀川区役所政策企画課

ランク：A

|    |                |      |     |      |     |    |          |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------|
| 番号 | 71. 淀川河川敷十三エリア | 占用目的 | その他 | 許可受者 | 大阪市 | 場所 | 右岸約 7.2k |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------|

1. 施設の概要

(占用者作成)

|            |                                                                                                         |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 位置図        |                                                                                                         | 現況写真    | <p>全景（令和6年7月3日撮影）</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 現在の利用形態    | なし<br>(令和7年4月より一時占用にて一部供用開始・令和7年度冬以降に本格オープン予定)                                                          | 都市計画の有無 | なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 占用面積       | 28,979.48 m <sup>2</sup>                                                                                | 付帯施設等   | 屋台飲食店、コンテナ（便所・倉庫・管理事務所）、ペット洗い場、シンク、シャワー、ウッドデッキ（休憩所）、階段嵩上げ、バッカン、インフラ設備                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 許可の経緯      | <当初許可><br>2025年秋予定<br><許可期限><br>未定（新規）                                                                  | 利用者数    | <p>合計 約 177,320 人<br/>(算出根拠)</p> <p>■よどがわ水辺横丁（屋台飲食店）<br/>平日 100 人×5 日 +<br/>土日 500 人×2 日 = 1,500 人/週<br/>1,500 人/週×48 週（年） = 72,000 人</p> <p>■ネイチャーセンター<br/>30 人/回×4 回(年) = 120 人<br/>※今後事業拡大予定</p> <p>■バーベキューエリア<br/>【デイバーベキュー】<br/>100 日×テント 100 張×平均 6 名<br/>= 60,000 人<br/>【夜バーベキュー】<br/>80 日×テント 40 張×平均 6 名<br/>= 19,200 人</p> <p>■イベント広場<br/>1 回 200 人×50 回 = 10,000 人</p> <p>■舟運事業（十三淀川航路）<br/>16,000 人</p> |
| 堤内地・堤防・堤外地 | 堤内地 ・ 堤防 ・ 堤外地                                                                                          |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 周辺の土地利用の状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・堤内地側は、商業施設、住居等が立地する市街地。</li> <li>・堤外地側の一部は、国営淀川河川公園。</li> </ul> |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

|                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>関連諸計画における占用地の位置付け</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新大阪駅周辺地域まちづくり方針」では、新大阪駅周辺地域全体としては、新大阪駅・十三駅・淡路駅の3つの駅を中心とした来訪者の徒歩圏において、防災性を高めることはもとより、現状の土地利用にも配慮しながら、交流促進・交通結節・都市空間の機能向上を図ることを目指している。十三駅エリアにおける都市空間機能としては、新大阪駅エリアにはない、淀川の河川空間や駅周辺のにぎやかさや、なつかしさを活かした都市空間の形成が求められている。</li> <li>・淀川河川敷十三エリアかわまちづくり計画では、占用予定地について、「沿川住民が日常的に利用する仕組みを作っていくため、堤防から見える河川空間や梅田方面の眺望を活かし、堤防の裏のり面を盛土した部分に交流施設やオープンカフェなど多目的空間等の利用者や観光客の活動、情報交換、休憩場所を創出する」と設定している。</li> <li>・大阪市地域防災計画において、広域避難場所に位置付けしている。</li> </ul> |
| <p>その他<br/>特記事項</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

ランク：A

|    |                |      |     |      |     |    |          |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------|
| 番号 | 71. 淀川河川敷十三エリア | 占用目的 | その他 | 許可受者 | 大阪市 | 場所 | 右岸約 7.2k |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------|

## 2. 施設の現状

(占用者作成)

|                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 占用の<br>必要性         | <ul style="list-style-type: none"> <li>堤防裏のり面に盛土を行い拡張された天端に屋台型飲食店、高水敷にはバーベキュー広場等、新たなにぎわいの場を創出することにより、河川公園及び船着場を含む親水空間の利用者数の向上も期待でき、地域住民が河川に親しみをもち、良好な河川環境の享受や理解を深めることが見込まれる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 管理状況               | <ul style="list-style-type: none"> <li>管理主体：大阪市<br/>淀川河川敷十三エリア魅力向上協議会の決定に基づき、大阪府が事業者と事業協定を締結し、事業者が整備・運営を行う。整備・運営事業者は「RETOWN・類設計室・OneOsaka リパークルーズ事業共同体」である。</li> <li>利用規則の有無<br/>占用地の適正な維持管理のため、管理規則・利用規則をハード施設完成後に策定する。規則策定にあたっては、自然環境の保全・再生に関する項目を河川管理者の意向に沿って盛り込む予定である。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 将来の<br>利用状況        | <ul style="list-style-type: none"> <li>屋台を使用した飲食店事業、淀川の自然資源を活用した自然体験学習事業、十三船着場を活用した舟運事業など、区民だけでなく誰でも利用ができるような事業を予定している。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 前回審議<br>の意見と<br>対応 | 前回審議の意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 前回審議意見の対応                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>占用地の近くには十三干潟が存在し、多くの希少生物が生息、生育している。利活用だけではなく、環境教育の利用など、共存していく場としての利用の検討をお願いしたい。</li> <li>現計画では当該占用地の特性、貴重な自然環境を利用した、子どもを対象とした自然体験学習が想定されていると説明もいただいたが、子どもだけでなく、大人まで広く府民に生物多様性や自然環境の重要性を学んでいただけるような場の創出をお願いしたい。</li> <li>用地と隣接する保全、特にカヤネズミの保全のために一部残しているということだが、保全が必要な場所のゾーニングを検討していただきたい。イベントが軌道に乗ってくると、たくさんの方が入ってくることが想定されるため、物理的にバリエードを置くなど見ただけで分かるようなゾーニングを検討していただけたらよい。</li> <li>事業計画地は河川であるため、日々変化する自然環境というのが前提とし、特に、台風や増水などを見越した利活用及び保全の取組をお願いしたい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育のプログラムは、令和7年3月16日（日）と7月26日（土）に実施。両日ともに環境省希少野生動植物種保存推進員の河合典彦氏を講師に招いた。プログラムは事業の実証実験的な位置づけで実施したこともあり、安全管理の面も考慮して、3月16日（日）は参加者10名、7月26日（土）は15名を定員としたが、ともに満員により実施した。</li> <li>また、保護者の参加も呼び掛けたところ、両日1名ずつ、計2名の参加があった。今後も親子での参加を促すことで、子どもだけでなく、大人に対しての環境学習の場も広げていく。</li> <li>用地と隣接する自然の保全として、カヤネズミの生息地への進入禁止を促す看板の設置や、利用者への注意喚起をし、対策を行っていく。</li> <li>台風や増水などを見越し、淀川河川事務所と協議を行いながら、出水時の撤去計画を詰めている。</li> </ul> |

|    |                |      |     |      |     |    |          |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------|
| 番号 | 71. 淀川河川敷十三エリア | 占用目的 | その他 | 許可受者 | 大阪市 | 場所 | 右岸約 7.2k |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------|

## 2. 施設の現状

(占用者作成)

|                   | 前回審議の意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 前回審議意見の対応                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>前回審議の意見と対応</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・十三干潟と一時占用地の範囲が重複している部分が見られる。利用者の増加に伴い、騒音等による鳥類の採餌環境へ影響、人の移動による外来動植物の侵入騒音問題等が懸念される。騒音問題は、例えば、時期によってマイクの使用を制限する、音量やスピーカーを置く方向を考慮するなど、対策をお願いしたい。外来動植物の侵入については、定期的なモニタリング等を実施するなどで早期発見、早期対策を検討していただきたい。</li> <li>・カヤネズミについては、一時占用地利用中にカヤネズミが侵入しないよう対策をしていただきたい。専門家のご意見を取り入れ、個体群維持が可能な生息域の確保をお願いしたい。</li> <li>・適正な植生の管理について、一時占用地である芝生エリアはきれいに刈られているが、既存植生を残しつつ、定期的な草刈りを実施することで、広場を形成していただきたい。</li> <li>・賑わいゾーンと保全ゾーンが明確に分かれているのはいい面はあると思うが、十三エリアについては、そのバランスをとったエリアという見せ方ができるような形にして、一連として新しい川らしさの形を PR できることが望ましいのではないか。</li> <li>・これまでの事前説明現地視察を通じて、当初と比べると環境配慮の面で計画はブラッシュアップされてきた。ただし、協議中の部分もあり、当委員会での指摘の対応もあるため、適切に対応いただきたい。</li> <li>・自然環境は、予測しきれないものであり順応的な管理が大事になる。モニタリング、状況を見ながらの評価により本来のミッションを達成するためやり方を変えていくが必要になる。</li> <li>・チェックリスト資料の連携体制を見ると、専門家との連携は模索されているようだが、周辺地域の地域団体との連携がもう少し組み込まれて計画されると良い。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音等に対する対策としては、時間や季節によって、屋台飲食店やイベント時のマイク・スピーカーBGMの音量や置く方向を調整するなど、十三干潟への影響を最小限にする対策を行っていく。</li> <li>・芝生エリアの管理については、河川管理者と公園管理者との協議のうえ、適正な植生の管理を行う。</li> <li>・自然環境の順応的な管理については、今後の施設整備や事業開始をした後も、本委員会にて指摘された事項に注意しながら、にぎわいづくりと環境保全を両立した事業を行っていく。</li> </ul> |

ランク：A

|    |                |      |     |      |     |    |          |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------|
| 番号 | 71. 淀川河川敷十三エリア | 占用目的 | その他 | 許可受者 | 大阪市 | 場所 | 右岸約 7.2k |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------|

## 2. 施設の現状

(占有者作成)

|                  | 前回審議の意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 前回審議意見の対応                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 前回審議の意見と対応       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・賑わいづくりという目的のなかでやっている上で、区民を対象とした事業展開も見据えて取り組んでいく必要があるのではないか。</li> <li>・駐車場、駐輪場の計画は無いが、自動車、自転車で来た利用者に対しては、どのような対応になるのか。想定できることに対して、対応策は十分に準備されたい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民の方々も利用者ターゲットに組み込んだ事業計画としている。</li> <li>・令和7年10月5日(日)には、淀川区役所、大阪市環境局、整備・運営事業者で連携し、淀川区民を優先とした水環境学習を実施。</li> <li>・自動車や自転車での来場は、事業者によるホームページや来場者への声掛けなどで、利用者が自転車や自動車で来ない、もしくは周辺駐車場・駐輪場など適切な場所の利用の注意喚起を行う。また淀川区役所においても、大阪市の違法駐輪対策の関係部局等と連携し、周辺に駐車や駐輪がされないよう対策をしていく。</li> </ul> |
| 環境保全に向けて申請者の取り組み | <p>【日常的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な河川敷の日常清掃を実施する。</li> <li>・営業時以外はごみ箱を設置せず、各施設の管理者が責任を持ってゴミを収集、施錠できるバケツに保管し業者への引き渡しを行う等、ごみの管理を徹底する。</li> </ul> <p>【利用者への環境保全の周知】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川敷利用のマナー動画を作成し、地域住民に啓発を行う。</li> </ul> <p>【環境学習プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども向けに、淀川の生態系や人々との共生の歴史、自然環境の歴史、環境問題、外来種問題等をテーマに自然体験学習を実施する。</li> <li>・学習プログラムの企画には、国土交通省淀川環境委員会委員・環境省希少野生動植物種保存推進員・中間法人水生生物保全研究会監事・淀川水系イタセンパラ研究会役員などを務める河合典彦氏との連携をおこなう。</li> </ul> <p>【環境イベント等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ拾いや、大人を対象にした生態系ツアー、淀川名産のしじみ・うなぎを使用した料理の提供、SUP・カヤックなどによる改善している水質の体験など、環境保全にまつわる啓蒙イベントを実施する。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| その他              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

ランク：A

|    |                |      |     |      |     |    |          |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------|
| 番号 | 71. 淀川河川敷十三エリア | 占用目的 | その他 | 許可受者 | 大阪市 | 場所 | 右岸約 7.2k |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------|

### 3. 施設の自然環境的状况

(河川管理者作成)

|                        |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>占用地及び周辺の自然環境</p>    |                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 占用地のほとんどが新たに整備された堤防の裏のり面に盛土した部分を利用するものである。</li> <li>・ 占用地周辺の高水敷部分は淀川河川公園基本計画において多目的利用ゾーン、水際部分は水辺環境保全・再生ゾーンとして位置づけられている。</li> <li>・ 占用地周辺の高水敷部分の上流水際には十三干潟が形成されており、ニホンウナギ、ヤマトシジミ、モクズガニ等の水生生物やオオジュリン、ハマシギ等の鳥類も見られる。</li> <li>・ 占用地周辺で植物ではシオクグ、ヤマアワ群落やヨシ群落があり、ヨシ群落の一部は船着場整備に伴い移植されている。</li> <li>・ 占用地周辺の草地にはカヤネズミが生息している。</li> </ul>                                                                                                                                                 |
| <p>自然環境上重要な場所</p>      |                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水際は十三干潟の下流端付近に位置し、ヨシ群落をはじめとした植生や水生植物の生息地となっている。</li> <li>・ 高水敷の部分は路上草本が多く占め、一部は樹林、竹林が繁茂しており、陸上生物の生息場となっている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>水際の状況</p>           | <p>水域までの距離</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堤防法尻から水際まで約 110m</li> <li>・ 水際はヤマアワ群落やヨシ群落が形成されている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                        | <p>水面との高低差</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 約 1～3m (感潮域)</li> <li>・ 冠水実績：近年では平成 25 年、平成 30 年</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>環境面から見た望ましい利用方針</p> |                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本事業の契機となった淀川河川事務所の十三地区低水護岸整備工事で次のような対策を行っている。</li> <li>・ 船着場となる水際部分のヨシ群落は約 1.2km 下流に移植しているが、船着場周辺の既存植生を可能な限り保全する。</li> <li>・ 高水敷の部分の路上草本や樹林等は陸上生物の生息場となるため可能な限り保全するのが望ましい。</li> <li>・ 基盤整備に関わる工事においては生物の生活史に配慮した工事を行った。(カヤネズミの繁殖等)</li> <li>・ 利用にあたっては、・利用者の河川環境保全に関する意識向上として学識経験者や環境団体等と連携した環境学習プログラムの推進が望まれる。</li> <li>・ また、高水敷の一時的な利活用においてもこれらの河川環境に配慮した利用や利用者への認知のための情報発信が必要である。</li> <li>・ そのため、利用者に対しては環境啓発看板の設置やチラシの配布等により占用地および周辺の利用の在り方や環境保全への意識向上を図ることが望まれる。</li> </ul> |

ランク：A

|    |                |      |     |      |     |    |         |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|---------|
| 番号 | 71. 淀川河川敷十三エリア | 占用目的 | その他 | 許可受者 | 大阪市 | 場所 | 右岸約7.2k |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|---------|

**4. 占用許可期間の更新についての意見**

(委員会作成)

ランク：A

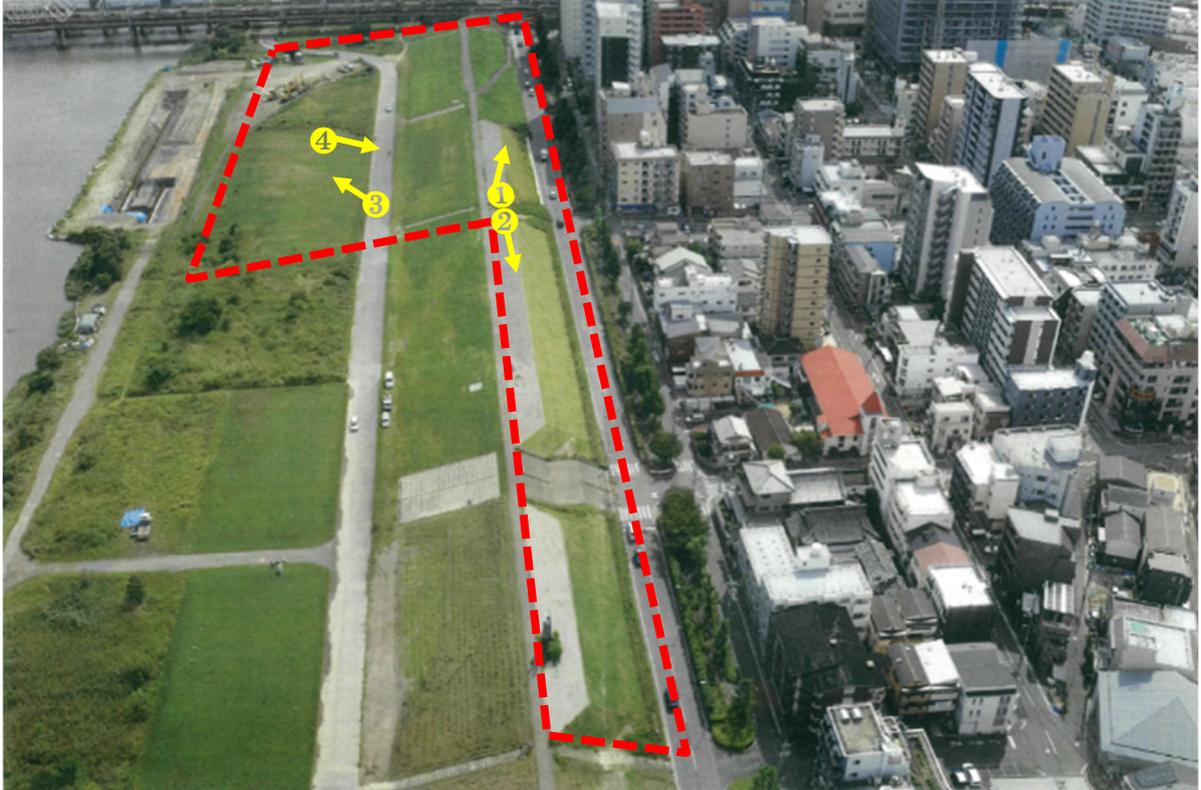
|    |                |      |     |      |     |    |          |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------|
| 番号 | 71. 淀川河川敷十三エリア | 占用目的 | その他 | 許可受者 | 大阪市 | 場所 | 右岸約 7.2k |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------|

### 5. 委員会の審議内容に関わる現況写真

(写真撮影者：占用者)

■ 淀川河川敷十三エリア 全体俯瞰図（令和6年7月3日撮影）

◆ 赤枠部分が河川の占用予定範囲



① 盛土（下流方向）



② 盛土（上流方向）



③ 高水敷（堤内方向）



④ 高水敷（堤外方向）



## 【チェックリスト】

Aランク案件のチェックリストの様式(1/4)

記入者:大阪市淀川区役所政策企画課

●河川保全利用手チェックリスト(占用地 名称:71淀川河川敷十三エリア)

| No | 確認の視点  | 確認事項                                                                                | 過年度意見 | 過年度意見についての対応と進捗 | 占用者による確認                                                                                                                                                                                                                                                                     | 河川管理者による確認 | 評価区分                                        | 備考 |
|----|--------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------------------------------|----|
| 1  | 占用の必要性 | 自治体等が策定する計画に当該施設の位置づけはあるか<br>※計画名を挙げたうえ、具体的な記載箇所を記す<br>(例)総合計画、都市計画、緑の基本計画等         |       |                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新大阪駅周辺地域まちづくり方針」では、新大阪駅周辺地域である十三駅エリアにおいて、淀川の河川空間を活かした都市空間の形成のための事業として位置づけている。</li> <li>・淀川河川敷十三エリアが「まちづくり計画」では、「沿川住民が日常的に利用する仕組みを作っていくため、堤防から見える河川空間や梅田方面の眺望を活かし、堤防の裏のり面を盛り上げなど多目的空間等の利用者や観光客の活動、情報交換、休憩場所を創出する」と設定している。</li> </ul> |            | ○:ある<br>△:検討中<br>×:ない                       |    |
| 2  |        | 避難場所等の防災上の位置づけはあるか<br>(例)地域防災計画等                                                    |       |                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市地域防災計画において、広域避難場所として位置づけている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                           |            | ○:ある<br>△:検討中<br>×:ない                       |    |
| 3  |        | 堤内において代替施設を設置、又は既存施設により機能を代替する計画はあるか                                                |       |                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・無し。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                       |            | ○:ある<br>△:検討中<br>×:ない                       |    |
| 4  |        | 川らしい自然環境に影響が少ない施設に転換する計画はあるか<br>(例)水陸部の占用面積を縮小<br>・グラウンドを親水公園に変更等<br>・河川敷内で場所移動     |       |                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・無し。ただし、設置施設は必要最低限とする。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                     |            | ○:ある<br>△:検討中<br>×:ない                       |    |
| 5  | 検討体制   | 占用施設の代替地の検討や自然環境に影響が少ない施設への転換に向けて、環境やまちづくりの関係部局と連携しているか<br>※連携部局がある場合には、その名称も合わせて記す |       |                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・無し。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                       |            | ○:連携している<br>△:検討中<br>×:連携していない              |    |
| 6  | 占用目的   | 占用目的は「川らしい利用」に合致するればならない利用」に合致するか                                                   |       |                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防の天端から見える河川空間や梅田方面の眺望を活かした飲食店等を整備する。</li> <li>・ファミリー層の子どもの対象とした自然体験学習を行い、子どもたちが自然に触れることで、生態系や自然の歴史に触れ、淀川の魅力を伝えることが可能となる。</li> <li>・新たに整備された十三船着場を拠点に舟運事業を展開する。</li> <li>・上記の飲食店・自然体験学習・舟運事業により、「親水空間」の創出を行う。</li> </ul>             |            | ○:合致する<br>△:一部合致する<br>×:合致しない               |    |
| 7  |        | 特定の利用者・団体に限定せず、公平な利用ができるか                                                           |       |                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食スペースや学びエリア等多様なプログラムにより、多世代が楽しんで利用することができる。</li> </ul>                                                                                                                                                                              |            | ○:公平に利用できる<br>△:公平に利用できない場合がある<br>×:特定の者が利用 |    |
| 8  |        | 利用状況は占用目的に合致しているか                                                                   |       |                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、河川敷であることを活かした飲食店事業や自然体験学習、舟運事業等を行い、「親水空間」として地域住民が河川に親しみをもち、良好な河川環境の享受や理解を深めるための利用場所となるようにしていく。</li> </ul>                                                                                                                         |            | ○:合致している<br>△:合致していない場合がある<br>×:合致していない     |    |

● 河川保全利用手チェックリスト(占用地 名称: 71 淀川河川敷十三エリア)

| No | 確認の視点      | 確認事項                                                                               | 過年度意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 過年度意見についての対応と進捗                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 占用者による確認                                                                                | 河川管理者による確認 | 評価区分 | 備考                                |
|----|------------|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------|------|-----------------------------------|
| 9  | 連携体制       | 「川らしい利用、川でなければならぬ利用」に関する取組について、施設利用者や地域住民、市民団体等と連携しているか                            | 現計画では当該占用地の特性、貴重な自然環境を利用した、子どもを対象とした自然体験学習が想定されていると説明もいただいたが、子どもだけでなく、大人まで広く府民に生物多様性や自然環境の重要性を学んでほしい。賑わいゾーンと保全ゾーンが明確に分かれているのはいい面はあると思うが、十三エリアについては、そのパランクスをとったエリアという見せ方ができるような形にして、一連として望ましい川らしさをPRできることが望ましいのではないかと、専門家との連携は模索されているようだが、周辺地域の地域団体との連携がもう少し組み込まれて計画されるとうれしい。賑わいつくりという目的のなかでやっている上で、区民を対面とした事業展開も見据えて取り組んでいく必要があるのではないかと。                                                                                                                                                                                                                                                    | ・環境教育のプログラムは、2025/3/16と2025/7/26に実施。両日とも二環境省希少野生動物種保護推進員の河川典彦氏を講師に招いた。プログラムは事業の実証実験的な位置づけで実施したこともあり、安全管理の面も考慮して、3/16は参加者10名、7/26は15名を定員としたが、ともに定員が埋まる形で実施できた。<br>・また、保護者の参加も呼び掛けたところ、両日1人ずつ、計2名の参加があった。今後も親子での参加を促すことで、大人に対しての環境学習の場も広げていく。<br>・区民の方々も利用者ターゲットに組み込んだ事業計画としている。<br>・令和7年10月5日(日)には、淀川区役所、大阪市環境局、整備・運営事業者で連携し、淀川区民を優先とした水環境学習を実施。 | ・ファミリー層の子どもに向けた自然体験学習を、月2~4回程度を目標に実施予定であるが、その企画にあたっては環境省希少野生動物種保護推進員を務める河台典彦氏との連携をしている。 |            |      | ○: 連携している<br>△: 検討中<br>×: 連携していない |
| 10 | 自然環境の保全・再生 | 保全すべき動植物など、占用区域及びその付近の自然環境で配慮すべき事項を把握しているか<br>(例) 貴重種の生育・生息地、ヨシ原、干潟、野鳥の営巣地、外来種の繁殖等 | 占用地の近くには十三干潟が存在し、多くの希少生物が生息、生育している。利活用だけではなく、環境教育の利用など、共存していく場としての利用の検討をお願いしたい。<br>・ミの保全のために一部残しているところだが、保全が必要な場所のゾーニングを検討していただきたい。イベントが軌道に乗ってくると、たくさんの人が入ってくることで判定されるため、物理的にバリアードを置くなど見ただけで分かるようなゾーニングを検討していただけたらよい。<br>・十三干潟と一時占用地の範囲が重複している部分が見られる。利用者の増加に伴い、騒音等による鳥類の採餌環境へ影響、人の移動による外来動植物の侵入騒音問題等が懸念される。騒音問題は、例えば、時期によってマイクの使用を制限する、音重やスピーカーを置く方向を考慮するなど、対策をお願いしたい。外来動植物の侵入については、定期的なモニタリング等を実施するなど早期発見、早期対策を検討していただきたい。<br>・カヤネズミについては、一時占用地利用中にカヤネズミが侵入しないよう対策をしていただきたい。専門家の意見を聞き入れ、個体群維持が可能な生息地の確保をお願いしたい。駐車場、駐輪場の計画は無いが、自動車、自転車でも来た利用者に対しては、どのような対応になるのか。想定できることに対して、対応策は十分に準備されたい。 | ・用地と隣接する自然の保全として、カヤネズミの生息地への進入禁止を促す看板の設置や、利用者への注意喚起をし、対策を行っている。<br>・騒音等に対する対策としては、時間や季節によって、屋外飲食店やイベント時のマイク、スピーカー-BGMの音量や置く方向を調整するなど、十三干潟への影響を最小限にする対策を行っている。<br>・自動車や自転車での来場は、事業者によるホームページや来場者への声掛けなどで、利用者が自転車や自動車で来ない、もしくは周辺駐車場・駐輪場など適切な場所の利用の注意喚起を行う。また、淀川区役所において、大塚市の違法駐輪対策の関係部署等と連携し、周辺に駐車や駐輪がされないよう対策をしていく。                               | ・占用区域に保全すべき動植物は存在しないが、その周辺にはカヤネズミ、シオクグ、ヤマアワの生息を淀川河川事務所の情報情報図により確認している。                  |            |      | ○: 把握している<br>△: 調査中<br>×: 連携していない |

Aランク案件のチェックリストの様式(3/4)

記入者:大阪市淀川区役所政策企画課

●河川保全利用手チェックリスト(占用地 名称:71淀川河川敷十三三エリア)

| No | 確認の視点                                                                         | 確認事項                                                                            | 過年度意見 | 過年度意見についての対応と進捗                  | 占用者による確認                                                                                                                                    | 河川管理者による確認 | 評価区分                                     | 備考 |
|----|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------------------------------------|----|
| 11 | 占用区域及びその付近において、水位置変動により冠水・攪乱される区域を把握しているか                                     | 事業計画地は河川であるため、日々変化する自然環境というのが前提とし、特に、台風や増水などを見越した利用方法及び保全の取組をお願いしたい。            | 過年度意見 | 過年度意見についての対応と進捗                  | ・近年では平成25年、平成30年に冠水している。                                                                                                                    |            | ○:把握している<br>△:調査中<br>×:連携していない           |    |
| 12 | 施設整備は河川の生態系の連続性(縦断方向及び横断方向)の確保など自然環境に配慮しているか<br>(例)水際部に緩衝緑地を設置等               | 適正な植生の管理について、一時占用地である芝生エリアはきれいに刈られているが、既存植生を残しつつ、定期的な草刈りを実施することで、広場を形成していただきたい。 |       | ・河川管理者と公園管理者との協議のうえ、適正な植生の管理を行う。 | ・設置する施設は、掘削等の大規模な工事を要しないコナンテナなどを活用した施設として、生態系の生息環境への影響を最小限にしている。                                                                            |            | ○:配慮している<br>△:検討中<br>×:配慮していない           |    |
| 13 | 管理運営は占用区域及びその付近の自然環境の保全・再生に配慮しているか<br>(例)投棄されたゴミの収集、除雪時の水際部刈り残し、野鳥の営巣時期の利用制限等 | 自然環境の保全・再生に配慮しているか                                                              |       |                                  | ・定期的な河川敷の日常清掃。<br>・営業時以外はゴミ箱を設置せず、各施設の管理者が責任を持ってゴミを収集、施設できるバックカンに保管し業者への引き渡しを行う等、ゴミの管理を徹底する。                                                |            | ○:配慮している<br>△:検討中<br>×:配慮していない           |    |
| 14 | 施設利用者に占用区域及びその付近の自然環境に関する情報発信、注意喚起を行っているか<br>(例)情報板設置による環境配慮への啓発等             | 施設利用者に占用区域及びその付近の自然環境に関する情報発信、注意喚起を行っているか                                       |       |                                  | ・施設利用者に向けた自然環境に関する啓発動画の配信、施設案内パンフレットに淀川の歴史や環境、防災に関する内容を掲載し、啓発を行う。                                                                           |            | ○:行っている<br>△:検討中<br>×:行っていない             |    |
| 15 | 占用区域及びその付近の自然環境を活かした環境学習・保全活動を行っているか                                          | 活用しているか                                                                         |       |                                  | ・ファミリー層の子どもたちを対象に、淀川の自然に触れて、生態系や自然と人々の共生、淀川の自然環境の歴史、環境問題の今、などの自然体験学習プログラムを実施する。<br>・また、年に1、2回程度、ゴミを拾いながら生態系を学ぶツツアナーなど、環境保全にまつわる啓発イベントも実施する。 |            | ○:行っている<br>△:検討中<br>×:行っていない             |    |
| 16 | 適正な利用                                                                         | 不許可の工作物は設置されていないか                                                               |       |                                  | ・施設やインフラ等ハード設備の整備にあたり、関係各所と調整をし、適切に設置する。                                                                                                    |            | ○:設置されていない<br>△:設置される場合がある<br>×:設置されている  |    |
| 17 | 占用区域外を使用していないか<br>(例)トイレ、道具入れ等の工作物設置・グラウンド、駐車場等の造成・利用等                        | 占用区域外を使用していないか                                                                  |       |                                  | ・占用区域外の河川区域の使用はしない。                                                                                                                         |            | ○:使用していない<br>△:使用している場合がある<br>×:使用している   |    |
| 18 | 占用施設及びその利用者が自然観察や水面利用(カヌー、釣り等)などを行う河川利用者の水辺へのアクセスの支障になっていないか                  | 支障があるか                                                                          |       |                                  | ・堤防の飲食店等施設は、天端を盛土で拡張した箇所の占用であり、管理用通路部分は誰でも自由に通行できる。また、高水敷に設置する施設も、河川利用者の水辺へのアクセスの支障にならないようにする。                                              |            | ○:支障はない<br>△:支障になる場合がある<br>×:支障がある       |    |
| 19 | 地域住民の迷惑になる利用がなされていないか<br>(例)施設利用者によるゴミの投棄、車両通行や路上駐車による交通問題、騒音等                | 迷惑になるか                                                                          |       |                                  | ・今後、河川敷であることを活かした飲食店事業や自然体験学習、舟運事業等を行い、「潮水空間」として地域住民が河川に親しみをもち、良好な河川環境の享受や理解を深めるための利用場所となるようにしていく。                                          |            | ○:迷惑な利用はない<br>△:迷惑になる場合がある<br>×:迷惑な利用がある |    |
| 20 | 利用状況をふまえた管理運営・利用のルールを定めているか                                                   | ルールを定めているか                                                                      |       |                                  | ・施設利用者「むげた」過ごし方・マネー啓発動画」を配信し、視聴を促すことでマナーを周知する。<br>・ハード施設完成後に管理規則・利用規則を策定する。                                                                 |            | ○:定めている<br>△:検討中<br>×:定めていない             |    |

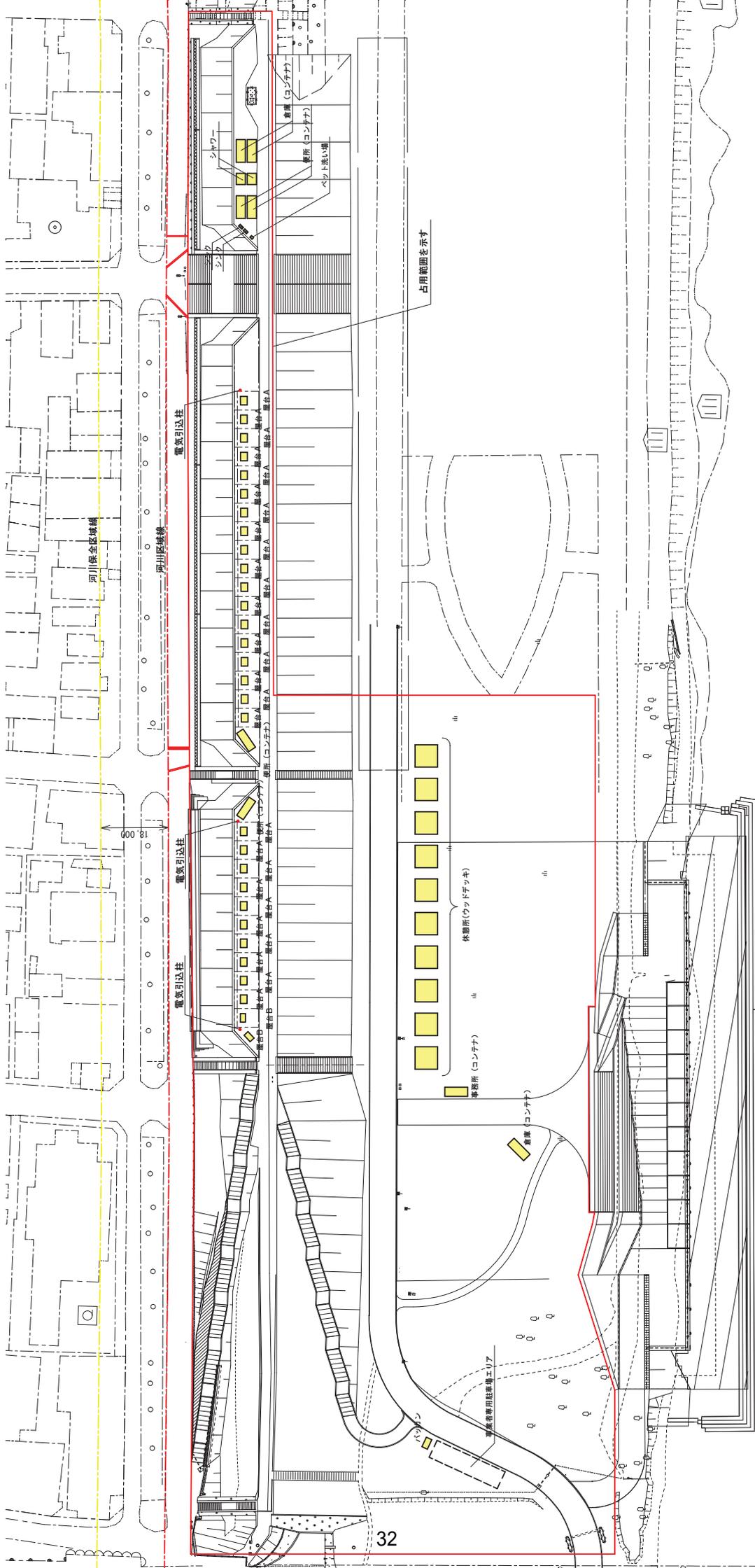
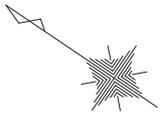
Aランク案件のチェックリストの様式(4/4)

記入者:大阪市淀川区役所政策企画課

●河川保全利用手チェックリスト(占用地 名称:71淀川河川敷十三エリア)

| No | 確認の視点                                 | 確認事項                                  | 過年度意見                                                                                                                                                                                                           | 過年度意見についての対応と進捗                                                                                  | 占用者による確認                                                                                                               | 河川管理者による確認        | 河川保全利用委員会の意見        | 評価区分                                                           | 備考        |
|----|---------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|---------------------|----------------------------------------------------------------|-----------|
| 21 | 管理運営・利用のルールに自然環境の保全・再生に関する事項は定められているか | 管理運営・利用のルールに自然環境の保全・再生に関する事項は定められているか | <p>過年度意見</p> <p>これまでの事前説明現地視察を通じて、当初と比べると環境配慮の面で計画はブラッシュアップされてきた。ただし、協議中の部分もあり、当委員会での指摘の対応もあるため、適切に対応いただきたい。</p> <p>自然環境は、予測しきれないものもあり順応的な管理が大事になる。メンテナンスリング、状況をしながらの評価により本来のミッションを達成するためやり方を変えていくことが必要になる。</p> | <p>過年度意見についての対応と進捗</p> <p>・今後の施設整備や事業開始をした後も、本委員会にて指摘された事項に注意しながら、にぎわいつくりと環境保全を両立した事業を行っていく。</p> | <p>占用者による確認</p> <p>・管理規則・利用規則の策定にあたっては、自然環境の保全・再生に関する項目を盛り込んでいく。</p> <p>・上記啓発動画にはマナー啓発だけではなく、自然環境に関する啓発を盛り込む予定である。</p> | <p>河川管理者による確認</p> | <p>河川保全利用委員会の意見</p> | <p>評価区分</p> <p>○:定めている<br/>△:検討中<br/>×:定めていない、又はルールを定めていない</p> | <p>備考</p> |
| 22 | 管理運営・利用のルールは施設利用者及び管理運営者に周知しているか      | 管理運営・利用のルールは施設利用者及び管理運営者に周知しているか      |                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                  | <p>占用者による確認</p> <p>・上記啓発動画をYoutubeなどSNSで配信し、施設利用者への事前の預めや、会場での動画配信により、周知を行う。</p>                                       | <p>河川管理者による確認</p> | <p>河川保全利用委員会の意見</p> | <p>評価区分</p> <p>○:定めている<br/>△:検討中<br/>×:定めていない、又はルールを定めていない</p> | <p>備考</p> |

## 【参考資料】



## 【参考資料】河川保全利用委員会速記録

(関連部分のみ抜粋)

## ■過年度審議結果のレビュー

## 令和6年 委員会

- ✓ カルテ資料の占用の必要性において占有箇所は裏のり面とあるが、裏のり面を腹付けした天端ということによいか。カルテの表現については、適切に修正されたい。  
⇒裏のり面に現況の天端と同じ高さまで盛り土した箇所であり、その理解で問題ない。
- ✓（大阪府として本案件について、文書として意見をまとめているため意見を開陳する）
- ✓ 事業全般について、当該事業は自然資本の持続可能な利用を行う上で重要な場所であると考えられる。ネイチャーポジティブ達成のため、大阪府でも、生物多様性地域戦略を策定しており、基本方針の一つとして、生物多様性の理解と、生物多様性に資する行動促進を掲げているため、生物多様性の価値を府民一人一人に認識していただき、行動を変えていただくことが必要だと思っている。
- ✓ 占用地の近くには十三干潟が存在し、多くの希少生物が生息、生育している。利活用だけではなく、環境教育の利用など、共存していく場としての利用の検討をお願いしたい。
- ✓ 現計画では当該占用地の特性、貴重な自然環境を利用した、子どもを対象とした自然体験学習が想定されていると説明もいただいたが、子どもだけでなく、大人まで広く府民に生物多様性や自然環境の重要性を学んでいただけるような場の創出をお願いしたい。
- ✓ 用地と隣接する保全、特にカヤネズミの保全のために一部残しているということだが、保全が必要な場所のゾーニングを検討していただきたい。イベントが軌道に乗ってくると、たくさんの方が入ってくることが想定されるため、物理的にバリアードを置くなど見ただけで分かるようなゾーニングを検討していただけたらよい。
- ✓ 事業計画地は河川であるため、日々変化する自然環境というのが前提とし、特に、台風や増水などを見越した利活用及び保全の取組をお願いしたい。
- ✓ 淀川は、琵琶湖と大阪湾をつなぐ重要な河川であるため、上流域から河口域全体のつながりを考慮した取組を期待し、都市部と緑地環境のつながりも意識しながらの取組を進めていただきたい。

41

## ■過年度審議結果のレビュー

令和6年 委員会  
(つづき)

- (以下、一時占用地に対しての意見)
- ✓ 十三干潟と一時占用地の範囲が重複している部分が見られる。利用者の増加に伴い、騒音等による鳥類の採餌環境へ影響、人の移動による外来動植物の侵入騒音問題等が懸念される。騒音問題は、例えば、時期によってマイクの使用を制限する、音量やスピーカーを置く方向を考慮するなど、対策をお願いしたい。外来動植物の侵入については、定期的なモニタリング等を実施するなど早期発見、早期対策を検討していただきたい。
  - ✓ カヤネズミについては、一時占用地利用中にカヤネズミが侵入しないよう対策をしていただきたい。専門家のご意見を取り入れ、個体群維持が可能な生息域の確保をお願いしたい。
  - ✓ 適正な植生の管理について、一時占用地である芝生エリアはきれいに刈られているが、既存植生を残しつつ、定期的な草刈りを実施することで、広場を形成していただきたい。
  - ✓（河川管理者に対して）環境保全に向けての占有申請者の取組が提示されているが、これがうまくそのとおりとなっているか確認の枠組みはあるか。次の保全利用委員会審議時だけなのか、進捗状況の中間的な確認があるのか、また指導する機会があるのか。少なくとも河川管理者として定期的に把握され、委員から質問があった場合は分かる状況にしていただくことが必須である。  
⇒保全利用委員会以外の場での枠組みは今のところないが、河川管理者が定期的に占有者に進捗状況について確認し、内容を把握したい。
  - ✓ 賑わいゾーンと保全ゾーンが明確に分かれているのはいい面はあると思うが、十三エリアについては、そのバランスをとったエリアという見せ方ができるような形にして、一連として新しい川らしさをPRできることが望ましいのではないか。

42

## ■過年度審議結果のレビュー

令和6年 委員会  
(つづき)

- ✓ 保全ゾーンと賑わいゾーンに区分けについていろいろと考え方はあるが、十三エリアはタワーマンションの建設により、子どもが増えたときに都市の中で川は自然と接する非常に重要な場所になる。賑わいがあることで自然とのふれあいを推進できる機会が増えるため、安全性を確保した上での中間的なものも含めたゾーニングができればいいのではないか。河川管理者、淀川区、事業者で日常的に自然と親しむことに参画できる利用を考えてほしい。
  - ✓ これまでの事前説明現地視察を通じて、当初と比べると環境配慮の面で計画はブラッシュアップされてきた。ただし、協議中の部分もあり、当委員会での指摘の対応もあるため、適切に対応いただきたい。
  - ✓ 自然環境は、予測しきれないものであり順応的な管理が大事になる。モニタリング、状況を見ながらの評価により本来のミッションを達成するためやり方を変えていくことが必要になる。
  - ✓ (河川管理者へ) 保全利用委員会は利用についての委員会であるからよいのかもしれないが、前提として、盛土等造成等の整備を行う前の時点での審議は環境委員会等で行われているのか、位置づけを確認したい。
- ⇒ 河川管理者が行う事業について、淀川の環境委員会にかけてから実施しているので、改修工事に伴ってそういった環境の改変を行う場合はそちらで見えていただく。面的占用のほうで行われるのであれば、河川保全利用委員会にかけてご意見を伺うという分け方になっている。
- ✓ 今回は、利用を前提に造成する計画であるため、河川管理者が事前に占用申請者と協議し、一定こういう利用を認めていく方向で、環境委員会の議論を経て、工事を経たものが保全利用委員会にあがってきているという理解でよいか。

43

## ■過年度審議結果のレビュー

令和6年 委員会  
(つづき)

- ⇒ 利用について将来的な形はある程度かわまちづくり事業の中で把握してから進めていることにはなるため、そのとおりである。
- ✓ 盛土の強度、防災上の議論は十分に行われたうえで、保全利用委員会で利用について議論されているという理解で問題ないか。
- ⇒ 河川管理者が行っている工事である以上、治水上の支障等は、当然事前にクリアされていることになる。
- ✓ チェックリスト資料の連携体制を見ると、専門家との連携は模索されているようだが、周辺地域の地域団体との連携がもう少し組み込まれて計画されると良い。
  - ✓ 裏のり面の盛土がスクリーニング会議にかかっているかどうか今一度確認されたい。
- ⇒ 環境委員会に確認する。
- ✓ 環境委員会のほうで審議されているということと思うが、そこでの指摘事項、留意点等場合によっては保全利用委員会で提示され、クリアしているかどうかは確認の必要があると思われる。
  - ✓ 賑わいづくりという目的のなかでやっている上で、区民を対象とした事業展開も見据えて取り組んでいく必要があるのではないか。
  - ✓ 環境委員会との関係性でいくと河川保全利用委員会規約の中で明確になっていないのではないか。第8条の検討事項の中で占用許可施設が河川環境に与える影響とあるが、この部分との整合性を図る必要があるのではないか。
  - ✓ 事業の計画として淀川区民だけでなく、大阪府民を対象にしたような事業展開を念頭においてほうがよいのではないか。
  - ✓ 駐車場、駐輪場の計画は無いが、自動車、自転車由来の利用者に対しては、どのような対応になるのか。想定できることに対して、対応策は十分に準備されたい。
- ⇒ 十三駅前や2026年4月建設予定の複合ビルの駐輪場を使ってもらうことも考えている。自動車については、周辺にいくつか民間駐車場があるため、そちらの利用を考えている。
- ✓ ランクAとし、占用期間は3年とする。なお、中間報告を求める条件付きとする。

## 9. 運動場 (常翔学園)

記入者：常翔学園 施設部施設課

ランク：A

|    |        |      |     |      |      |    |                         |
|----|--------|------|-----|------|------|----|-------------------------|
| 番号 | 9. 運動場 | 占用目的 | 運動場 | 許可受者 | 常翔学園 | 場所 | 左岸 11.0k+120m～11.2k+70m |
|----|--------|------|-----|------|------|----|-------------------------|

1. 施設の概要

(占有者作成)

|                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |         |                                                                                                                                             |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 位置図               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 現況写真    |                                                          |
| 現在の利用形態           | ラグビー場 1 面<br>ラグビー場兼陸上競技場 1 面<br>サッカー場 2 面<br>野球場 1 面                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 都市計画の有無 | 無し                                                                                                                                          |
| 占用面積              | 44,802,82 m <sup>2</sup>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 付帯施設等   | ラグビーポール、サッカーゴール、バッティングゲージ、防御ネット、スレッドマシン、スクラムマシン                                                                                             |
| 許可の経緯             | <当初許可> S14 (月日不明)<br><許可期限> R9.3.31                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 利用者数    | 令和2年度 177,097人<br>令和3年度 203,472人<br>令和4年度 227,157人<br>令和5年度 218,723人<br>令和6年度 224,950人<br>(各学校の実際利用した延べ人数を示す。ただし、日・祝日一般開放時の利用人数は把握できていません。) |
| 堤内地・堤防・堤外地        | 堤内地 ・ 堤防 ・ 堤外地                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |         |                                                                                                                                             |
| 周辺の土地利用の状況        | ・ 堤内側は住宅市街地                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |         |                                                                                                                                             |
| 関連諸計画における占用地の位置付け | ・ 特になし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |         |                                                                                                                                             |
| その他特記事項           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和 13 年に学舎を現在地に移動し、昭和 14 年(大阪府所管)より運動場施設として使用を許可され、学校法人常翔学園 (以下「学園」という) 設置の各学校において中断することなく継続して、教育の用として利用してきた。</li> <li>・ 平成 24 年度の更新時に淀川保全委員会から占用地の縮小について検討依頼があり、水際部分の全延長について幅 1m を削減し、580 m<sup>2</sup> 縮小した。</li> <li>・ 平成 25 年台風 18 号により、冠水被害、運動場が洗掘され使用を制限したが、以下のとおり復旧整備工事を完了した。<br/>(整備内容：搬入真砂土で転圧し不陸整正を行う。<br/>整備期間：平成 25 年 10 月 10 日～平成 26 年 1 月 31 日、整備費用：4530 万円)</li> </ul> |         |                                                                                                                                             |

ランク：A

|    |        |      |     |      |      |    |                         |
|----|--------|------|-----|------|------|----|-------------------------|
| 番号 | 9. 運動場 | 占用目的 | 運動場 | 許可受者 | 常翔学園 | 場所 | 左岸 11.0k+120m～11.2k+70m |
|----|--------|------|-----|------|------|----|-------------------------|

## 2. 施設の現状

(占用者作成)

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                              |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 占用の必要性           | <ul style="list-style-type: none"> <li>運動場は大阪工業大学（以下「大学」という）、常翔学園中学校（以下「中学」という）、常翔学園高等学校（以下「高校」という）の正課授業および課外活動にフル活用している。教育上、また、学生・生徒の課外活動上、絶対不可欠なものであり、学園存続のために必要な施設である。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                              |
| 管理状況             | <ul style="list-style-type: none"> <li>管理主体は、学園が行っている。</li> <li>管理規則・利用規則は、特にないが河川管理者の意向に沿って管理している。</li> <li>管理形態は、清掃・草刈りの実施、クリーンキャンペーンの実施、グラウンドの整地、占用許可の標示、日曜・祝日等に本学が利用する有無の標示、許可を受けた工作物の管理、災害時を備えた工作物の撤去訓練。ならびに3年に一度の「水防・防災演習」の会場となっている。また、被害のあったときは、速やかに復旧に努めている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                              |
| 利用状況             | <ul style="list-style-type: none"> <li>平日は中学・高校・大学の正課授業および課外活動のグラウンドとして利用しているが、日曜・祝日・夏休み等で各学校が利用しない日は一般に開放されている。</li> <li>申請内容と異なる利用等は、特になし。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                              |
| 前回審議の意見と対応       | 前回審議の意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 前回審議意見の対応                                                                                                                                                                                    |
|                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>現地ではクズのマント群落優先している様子が見えた。何か対策が取れるとよい。</li> <li>環境に関心を持っている人と、グラウンドのスポーツ利用が二極化しているようなことはないか？</li> <li>大阪府でも環境学習など取り組んでいる。スポーツ利用者に河川の環境のことに気づいてもらうのは入口として重要だが、その次の発展につながっていないのが実情。広げていってほしい。</li> <li>環境に関する取り組みを行っていることはわかったが、意味のあるものにしていくことが重要。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>クズのマント群落についての対策を検討。</li> <li>スポーツ活動だけでなく河川の環境教育や環境活動の啓蒙も継続的に実施しており、双方について広く周知している。</li> <li>その他には「外来魚駆除釣り大会」にも協力し、淀川水系の環境保全にも寄与する取り組みを行った。</li> </ul> |
| 環境保全に向けて申請者の取り組み | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年度に文部科学省現代GPに採択されたのを機に、淀川に関連する正課授業として「淀川と人間」「淀川と環境」の2科目を開講している。持続可能な社会の実現に向けて環境共生を实践できる技術者を育成することを目標に、環境保全の重要性を学修させている。</li> <li>同様に、『淀川学』事業の一環として、淀川環境に関する公開講座を地域の行政機関と共催して開催してきた。当該講義には、淀川河川流域の地域に在住の一般住民が参加されており、今後も地域住民への環境共生意識の啓蒙活動は継続して取り組む。</li> <li>平成18年から毎年秋に継続して、「淀川クリーンキャンペーン」（淀川左岸河川敷付近の清掃活動）を実施している。大学の学生・教職員をはじめ旭区の地域住民など約800名が参加し、赤川鉄橋から占用地運動場までの区間を清掃している。今後も当該活動は継続して取り組む。</li> <li>大阪府立環境農林水産総合研究所と共同でイタセンパラ放流事業を実施している。</li> <li>淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク(略称イタセンネット)と共同で「外来魚駆除釣り大会」を実施。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                              |
| その他              | <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                              |

ランク：A

|    |        |      |     |      |      |    |                      |
|----|--------|------|-----|------|------|----|----------------------|
| 番号 | 9. 運動場 | 占用目的 | 運動場 | 許可受者 | 常翔学園 | 場所 | 左岸 13. 0k+80m～13. 6k |
|----|--------|------|-----|------|------|----|----------------------|

### 3. 施設の自然環境的状况

(河川管理者作成)

|                        |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>占用地及び周辺の自然環境</p>    |                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該占用地の前面水域は淀川大堰の湛水区間であり、流れのゆるい水面が連続する。</li> <li>・当該占用地の下流には城北ワンド群がある。</li> <li>・水際にはヨシ群落を優先する。</li> <li>・周辺では、草本群落に依存するような多くの鳥類が確認されている。</li> <li>・冬季には水域にカモ類なども見られる。</li> <li>・背後地は住宅地であるが、学校施設の占める割合が多い。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>自然環境上重要な場所</p>      |                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・占用地の下流は、淀川を代表するワンド群となっており、鳥類などにとっての重要な生息場となっている。</li> <li>・対岸下流はツバメの集団ねぐらになっている。</li> <li>・隣接する城北ワンド群は、天然記念物イタセンバラの生息地として重要な意味を持ち、学園では「淀川水系イタセンバラ保全市民ネットワーク（イタセンネット）」と協力しながら保全に力を注いでいる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>水際の状況</p>           | <p>水域までの距離</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水域までの距離：50～80m</li> <li>・河岸との間にヨシ群落がある。</li> <li>・水際にはヤナギがみられる。</li> <li>・河岸の護岸は接続ブロックなどであるがほとんど土羽に覆われている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                        | <p>水面との高低差</p> | <p>約 1. 5m</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>環境面から見た望ましい利用方針</p> |                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・占用地の下流のワンド群に対しては一定距離の植生帯が確保されており、これを保全する。</li> <li>・水際のヨシ群落は水域とのバッファゾーンとして重要であるとともに、オオヨシキリなどの鳥類にとっての重要な生息空間・繁殖空間であることから、生物の忌避行動につながるような行為（河岸に近づく、大きな音が出るなど）は避ける必要があり、利用者に看板等で注意を促す。</li> <li>・昆虫等の生息域となる自然環境を広げるために、占用範囲周辺にある、占有者が除草等の管理を行う管理区域等の草地の刈り残しを図る。</li> <li>・利用範囲認知のために、占用範囲を看板、標識等により占用範囲を明示する。</li> <li>・環境啓発看板を設置し、利用者に周辺の貴重な環境を周知し、占用区域内での利用の遵守や環境保全への意識向上を図る。</li> <li>・環境啓発の一環として利用施設周辺の清掃を行う。</li> <li>・利用者の河川の環境保全に関する意識向上を目的として、河川レンジャーと連携した環境教育のあり方を検討する。</li> <li>・学生に対しても、勉学の場、課外活動の場とするほか、川との親しみと自然保全の大切さを学ぶ場として積極的に活用し、環境に対する意識の啓蒙をしている。</li> </ul> |

ランク：A

|    |        |      |     |      |      |    |                           |
|----|--------|------|-----|------|------|----|---------------------------|
| 番号 | 9. 運動場 | 占用目的 | 運動場 | 許可受者 | 常翔学園 | 場所 | 左岸 11. 0k+120m～11. 2k+70m |
|----|--------|------|-----|------|------|----|---------------------------|

#### 4. 占用許可期間の更新についての意見

(委員会作成)

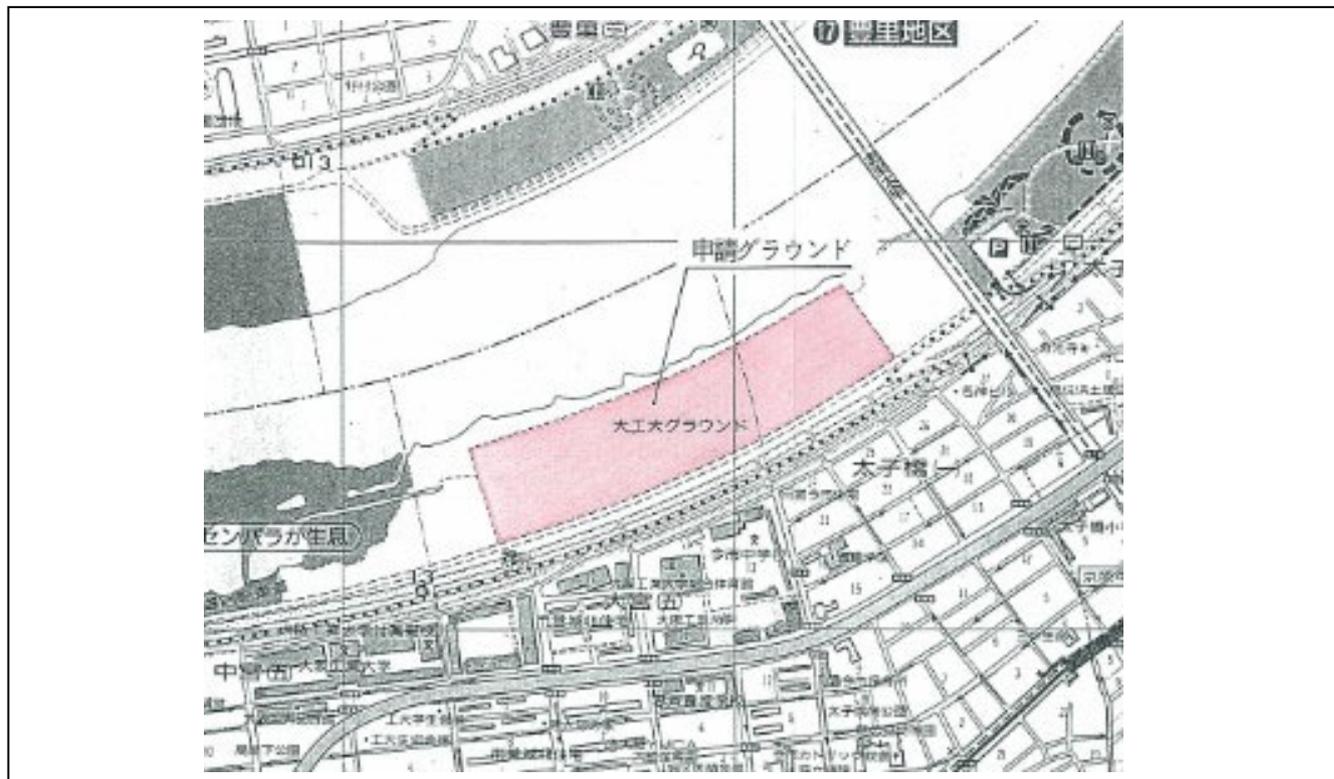
Aランク案件の記入例

ランク：A

|    |        |      |     |      |      |    |                         |
|----|--------|------|-----|------|------|----|-------------------------|
| 番号 | 9. 運動場 | 占用目的 | 運動場 | 許可受者 | 常翔学園 | 場所 | 左岸 11.0k+120m~11.2k+70m |
|----|--------|------|-----|------|------|----|-------------------------|

5. 委員会の審議内容に関わる現況写真

(写真撮影者：占有者)



① グラウンド全景写真



② 看板全景写真



## Aランク案件の記入例

ランク：A

| 番号 | 9. 運動場 | 占用目的 | 運動場 | 許可受者 | 常翔学園 | 場所 | 左岸 11.0k+120m~11.2k+70m |
|----|--------|------|-----|------|------|----|-------------------------|
|----|--------|------|-----|------|------|----|-------------------------|

③ 第1コート (中学・高校ラグビー場)



令和7年8月27日撮影

④ 第2コート (中学・高校サッカー場)



令和7年8月27日撮影

⑤ 第3コート (大学ラグビー場兼陸上競技場)



令和7年8月27日撮影

⑥ 第4コート (大学サッカー場)



令和7年8月27日撮影

⑤ 第5コート (中学・高校野球場)



令和7年8月27日撮影

⑥ 占有に関する看板 第5コート



令和7年8月27日撮影

⑤ 利用に関する掲示板 第5コート



## 【チェックリスト】

Aランク案件のチェックリストの様式(1/2)  
 ●河川保全利用チェックリスト(占用地 名称：9)運動場)

| No | 確認の視点      | 確認事項                                                                                | 過年度意見                                                                                      | 過年度意見についての対応と進捗                                                             | 占用者による確認 | 河川管理者による確認 | 評価区分                                        | 備考 |
|----|------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|----------|------------|---------------------------------------------|----|
| 1  | 占用の必要性     | 自治体等が決定する計画に当該施設的位置づけはあるか<br>※計画名を挙げたうえ、具体的な記載箇所を記す<br>(例)総合計画、都市計画、緑の基本計画等         |                                                                                            |                                                                             |          |            | ○:ある<br>△:検討中<br>×:ない                       |    |
| 2  |            | 避難場所等の防災上の位置づけはあるか<br>(例)地域防災計画等                                                    |                                                                                            |                                                                             |          |            | ○:ある<br>△:検討中<br>×:ない                       |    |
| 3  |            | 堤内地において代替施設を設置、又は既存施設により機能を代替する計画はあるか                                               |                                                                                            |                                                                             |          |            | ○:ある<br>△:検討中<br>×:ない                       |    |
| 4  |            | 川らしい自然環境に影響が少ない施設に転換する計画はあるか<br>(例)水際部の占用面積を縮小<br>・グラウンドを親水公園に変更<br>・河川敷内で場所移動      |                                                                                            |                                                                             |          |            | ○:ある<br>△:検討中<br>×:ない                       |    |
| 5  | 検討体制       | 占用施設の代替地の検討や自然環境に影響が少ない施設への転換に向けて、環境やまちづくりの関係部局と連携しているか<br>※連携部局がある場合には、その名称も合わせて記す |                                                                                            |                                                                             |          |            | ○:連携している<br>△:検討中<br>×:連携していない              |    |
| 6  | 占用目的       | 占用目的は「川らしい利用、川でなければならぬ利用」に合致するか                                                     |                                                                                            |                                                                             |          |            | ○:合致する<br>△:一部合致する<br>×:合致しない               |    |
| 7  |            | 特定の利用者・団体に限定せず、公平な利用ができるか                                                           |                                                                                            |                                                                             |          |            | ○:公平に利用できる<br>△:公平に利用できない場合がある<br>×:特定の者が利用 |    |
| 8  |            | 利用状況は占用目的に合致しているか                                                                   |                                                                                            |                                                                             |          |            | ○:合致している<br>△:合致していない場合がある<br>×:合致していない     |    |
| 9  | 連携体制       | 「川らしい利用、川でなければならぬ利用」に関する取組について、施設利用者や地域住民、市民団体等と連携しているか                             | 大阪府でも環境学習など取り組みを行っている。スポーツ利用者に河川の環境のことについて、環境やまちづくりの入口として重要だが、その次の発展につなげていくのが実情。広げていってほしい。 | スポーツ活動だけでなく河川の環境教育や環境活動の啓蒙も継続的に実施しており、双方について広く周知している。その次の発展につなげるものは継続検討します。 |          |            | ○:連携している<br>△:検討中<br>×:連携していない              |    |
| 10 | 自然環境の保全・再生 | 保全すべき動植物など、占用区域及びその付近の自然環境で配慮すべき事項を把握しているか<br>(例)貴重種の生育・生息地、ヨシ原、干潟、野鳥の営巣地、外来種の繁殖等   | 環境に関する取り組みを行っていることにはわかったが、意味のあるものにしていくことが重要。                                               | 淀川水系イタセンハラ保全市民ネットワーク主催の「外来魚駆除釣り大会」にも協力し、淀川水系の環境保全にも寄与する取り組みを行った。            |          |            | ○:把握している<br>△:調査中<br>×:連携していない              |    |
| 11 |            | 占用区域及びその付近において、水位変動により冠水・攪乱される区域を把握しているか                                            |                                                                                            |                                                                             |          |            | ○:把握している<br>△:調査中<br>×:連携していない              |    |

Aランク案件のチェックリストの様式(2/2)  
 ●河川保全利用チェックリスト(占用地 名称：9運動場)

| No | 確認の視点 | 確認事項                                                                          | 過年度意見                                       | 過年度意見についての対応と進捗                                                              | 占用者による確認 | 河川管理者による確認 | 評価区分                                      | 備考 |
|----|-------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|----------|------------|-------------------------------------------|----|
| 12 |       | 施設整備は河川の生態系の連続性(縦断方向及び横断方向)の確保など自然環境に配慮しているか<br>(例)水際部に緩衝緑地を設置等               |                                             |                                                                              |          |            | ○:配慮している<br>△:検討中<br>×:配慮していない            |    |
| 13 |       | 管理運営は占用区域及びその付近の自然環境の保全・再生に配慮しているか<br>(例)投棄されたゴミの収集、除草時の水際部刈り残し、野鳥の営巣時期の利用制限等 | 現地ではクズのマント群落が見えたり、優先している様子が見えた。何か対策が取れるとよい。 | クズのマント群落についての対策を検討。                                                          |          |            | ○:配慮している<br>△:検討中<br>×:配慮していない            |    |
| 14 |       | 施設利用者に占用区域及びその付近の自然環境に関する情報発信、注意喚起は行っているか<br>(例)情報板設置による環境配慮への啓発等             |                                             |                                                                              |          |            | ○:行っている<br>△:検討中<br>×:行っていない              |    |
| 15 |       | 占用区域及びその付近の自然環境を活かした環境学習・保全活動を行っているか                                          |                                             |                                                                              |          |            | ○:行っている<br>△:検討中<br>×:行っていない              |    |
| 16 | 適正な利用 | 不許可の工作物は設置されていないか                                                             |                                             |                                                                              |          |            | ○:設置されていない<br>△:設置される場合がある<br>×:設置されている   |    |
| 17 |       | 占用区域外を使用していないか<br>(例)トイレ、道具入れ等の工作物設置・グランド、駐車場等の造成・利用等                         |                                             |                                                                              |          |            | ○:使用していない<br>△:使用している場合がある<br>×:使用している    |    |
| 18 |       | 占用施設及びその利用者が自然観察や水面利用(カヌー、釣り等)などを行う河川利用者の水辺へのアクセスの支障になっていないか                  |                                             |                                                                              |          |            | ○:支障はない<br>△:支障になる場合がある<br>×:支障がある        |    |
| 19 |       | 地域住民の迷惑になる利用がなされていないか<br>(例)施設利用者によるゴミの投棄、車両通行や路上駐車による交通問題、騒音等                |                                             |                                                                              |          |            | ○:迷惑な利用はない<br>△:迷惑になる場合がある<br>×:迷惑な利用がある  |    |
| 20 |       | 利用状況をふまえた管理運営・利用のルールを定めているか                                                   | 環境に関心を持っている人、グラウンドのスポーツ利用が二極化しているようなことはないか？ | 学生・生徒やグラウンド利用者、地域住民に対してスポーツ活動だけでなく河川の環境教育や環境活動の啓蒙も継続的に実施しており、双方について広く周知している。 |          |            | ○:定めている<br>△:検討中<br>×:定めていない              |    |
| 21 |       | 管理運営・利用のルールに自然環境の保全・再生に関する事項は定めているか                                           |                                             |                                                                              |          |            | ○:定めている<br>△:検討中<br>×:定めていない、又はルールを定めていない |    |
| 22 |       | 管理運営・利用のルールは施設利用者及び管理運営者に周知しているか                                              |                                             |                                                                              |          |            | ○:定めている<br>△:検討中<br>×:定めていない、又はルールを定めていない |    |

## 【参考資料】河川保全利用委員会速記録

(関連部分のみ抜粋)

## ■過年度審議結果のレビュー

## 平成19年 委員会

- ✓ 提内地でのグラウンド用地取得の取り組みを継続すること  
⇒ 用地取得の取り組みを継続する
- ✓ 川らしい自然環境を保全・再生するという基本姿勢に立ち、人と川とのつながりを重視した施設の利用と管理にあたること
- ✓ 河川環境について考える機会として大学が実施している教育活動や広報活動は、引き続き継続してもらいたい  
⇒ 地域の行政機関や市民と連携して、環境共生を実践できる技術者教育を目指す取り組みを継続して行う

## 平成20年 委員会

- ⇒ 用地取得の取り組みを継続して行う
- ⇒ 環境共生を実践できる技術者教育を目指す取り組みを継続して行う
- ✓ 整理整頓・清掃等の環境の整備に努めてほしい  
⇒ 除草・清掃を行い、環境整備に努めている
- ✓ 占用地の周辺には草地、水際地帯が存在し、河川固有の貴重な自然環境があるため、これらの保全・再生を念頭に利用と管理にあたること  
⇒ 草地・水際地帯にツバメの集団ねぐらが存在し、除草をしない自然の状態で管理を行っている

14

## ■過年度審議結果のレビュー

## 平成22年 委員会

- ⇒ 占用地の縮小について、水際部の幅1mを削減することにより、580㎡を縮小した
- ⇒ 小学生に対して、淀川における水生生物の採取、観察を行う旭区生活環境学習会、地域住民に対して、ゴミの実態調査報告や淀川の水利用等の勉強会を継続的に実施している
- ⇒ 大阪府立環境農林水産総合研究所と共同でイタセンパラ放流事業を実施している

## 平成25年 委員会

- ✓ 占用地の維持管理だけでなく、淀川の自然環境をよくするという考えを持ってもらいたい  
⇒ 学生に淀川本来の自然環境を教育する機会を設けることで、意識向上を図っている
- ✓ 日常的な水際部の清掃を行うなど、取り組みを更に進めてもらいたい  
⇒ 年に1回のクリーンキャンペーン時には水際部の清掃をしているが、中高生による定期的な清掃ボランティアの際は、水没等のリスクがあるために水際部の清掃を実施していない

## 平成28年 委員会

- ✓ 一般の利用者が利用しやすいような、水際へのアクセスや、水際部への散策路の確保可能性について検討して欲しい

## 令和元年 委員会

- ✓ 授業等で河川的环境学習を取りいれていることなどは評価できる。継続されたい
- ✓ グラウンドとしての利用は、河川の自然環境に負荷を与えているとの認識を持ち、管理に努められたい
- ✓ 広大な河川敷を占有している案件であり、代償措置(ミティゲーション)などの取り組みについても、今後、検討されたい

15

## ■過年度審議結果のレビュー

## 令和4年 委員会

- ✓ 現地ではクズのマント群落が優先している様子が見えた。何か対策が取れるとよい。
- ✓ 環境に関心を持っている人と、グラウンドのスポーツ利用が二極化しているようなことはないか？
  - ⇒ 学園によるフェア等は、地域の小中学校の児童生徒を対象に行っている。
- ✓ スポーツ利用者が環境への取り組みをしているなら評価できると思う。
  - ⇒ スポーツ教室も実施しており、その参加者が環境イベントにも参加している可能性はある。
- ✓ 大阪府でも環境学習など取り組んでいる。スポーツ利用者に河川の環境のことに気づいてもらうのは入口として重要だが、その次の発展につながっていないのが実情。広げていってほしい。
- ✓ 環境に関する取り組みを行っていることはわかったが、意味のあるものにしていくことが重要。

## 12.淀川河川敷グラウンド (枚方市)

記入者：枚方市スポーツ振興課

ランク：A

|    |                |      |     |      |     |    |                      |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------------------|
| 番号 | 12. 淀川河川敷グラウンド | 占用目的 | 運動場 | 許可受者 | 枚方市 | 場所 | 左岸 31.2k<br>左岸 27.8k |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------------------|

1. 施設の概要

(占用者作成)

|                   |                                                                                                                                                                                                                     |         |                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 位置図               |                                                                                                                                                                                                                     | 現況写真    | <p>①磯島グラウンド (令和7年8月12日撮影)</p> <p>②牧野グラウンド (令和7年8月12日撮影)</p>                                                                                                                                                               |
| 現在の利用形態           | ・グラウンド6面<br>(磯島4面、牧野2面)                                                                                                                                                                                             | 都市計画の有無 | 無                                                                                                                                                                                                                         |
| 占用面積              | <p>全体 28,766.40m<sup>2</sup></p> <p>磯島グラウンド 15,428.72m<sup>2</sup></p> <p>牧野グラウンド 13,337.68m<sup>2</sup></p>                                                                                                        | 付帯施設等   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バックネット</li> <li>・ベンチ</li> <li>・簡易便所及び台座</li> <li>・かごマット</li> <li>・グラウンド案内板、標識板</li> <li>・グラウンド整備道具類</li> <li>・コルゲートパイプ</li> <li>・防球ネット</li> <li>・工具箱</li> <li>・吸い出し防止材</li> </ul> |
| 許可の経緯             | <p>&lt;当初許可&gt; S61.1.20</p> <p>&lt;許可期限&gt; R8.12.31</p>                                                                                                                                                           | 利用者数    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 36,126人</li> <li>・令和3年度 48,254人</li> <li>・令和4年度 56,399人</li> <li>・令和5年度 52,513人</li> <li>・令和6年度 53,451人</li> </ul>                                                          |
| 堤内地・堤外地           | 堤内地 ・ 堤防 ・ 堤外地                                                                                                                                                                                                      |         |                                                                                                                                                                                                                           |
| 周辺の土地利用の状況        | <p>《磯島グラウンド》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堤内側は住宅と農地が点在する市街地</li> </ul> <p>《牧野グラウンド》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堤内側は住宅市街地</li> </ul>                                                 |         |                                                                                                                                                                                                                           |
| 関連諸計画における占用地の位置付け | <p>①枚方市地域防災計画：広域避難場所、災害時用ヘリポートとして位置づけられている。</p> <p>②枚方市みどりの基本計画：<br/>淀川流域全体の自然環境の保全・活用の取組として、「淀川河川公園基本計画」や「淀川河川整備計画」に基づき、自然環境や生態系、水辺景観の保全・再生や水に親しみ憩う場の確保を促進することとしている。</p> <p>③枚方市都市計画マスタープラン：社会的資源として位置づけられている。</p> |         |                                                                                                                                                                                                                           |
| その他特記事項           | <p>①経緯<br/>枚方市内のグラウンド不足を補うため、昭和61年に河川敷利用の占用許可を受けた。</p> <p>②冠水実績 (平成29年10月)<br/>簡易便所やバックネット等などは冠水前に業者に撤去してもらったので被害なし。冠水後からおよそ3カ月間はグラウンドの利用の閉鎖。</p>                                                                   |         |                                                                                                                                                                                                                           |

ランク：A

|    |                |      |     |      |     |    |                      |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------------------|
| 番号 | 12. 淀川河川敷グラウンド | 占用目的 | 運動場 | 許可受者 | 枚方市 | 場所 | 左岸 31.2k<br>左岸 27.8k |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------------------|

## 2. 施設の現状

(占用者作成)

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                       |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 占用の必要性           | <p>本市のスポーツ推進については、「第5次枚方市総合計画」において、誰もが気軽にスポーツに親しみ、年齢や興味または関心に応じたスポーツ・レクリエーション活動ができる環境づくりを進めるとしている。この実現のためには、市民の身近な場所に、ニーズに応じてスポーツを親しむことができる場所の確保が必要だが、現在多目的グラウンドは限られており、今後堤内地に新たな施設を設置することも困難な状態です。この河川敷グラウンドを継続して占有することにより、多目的グラウンドを確保でき、幅広い年齢層の市民のニーズに応じて気軽にスポーツを楽しむ環境を市民に提供できる。</p>                                                            |                                                                                                                                                       |
| 管理状況             | <p>①管理主体：枚方市<br/>②利用規則：有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・淀川河川敷グラウンドの利用に関する要領<br/>利用者が遵守すべき事項をまとめたもの</li> <li>・淀川河川敷グラウンド利用の手引き<br/>グラウンドの位置図と注意事項を記載したもの</li> </ul> <p>③管理内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易便所等の点検及び撤去復元</li> <li>・河川敷グラウンドの除草</li> <li>・グラウンド及び周辺の空き缶、ごみ等回収など清掃</li> <li>・駐車場整理（日曜日・祝日のみ）</li> </ul> |                                                                                                                                                       |
| 利用状況             | <p>排他的独占利用はない。<br/>(グラウンド利用者については事前に登録制をとっているため、利用内容や利用主体を把握している。利用希望が重複した場合には抽選を行い、公平な利用ができるようしている。)</p>                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                       |
| 前回審議の意見と対応       | <p>前回審議の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の樹木が特徴的だった。枚方市の木はヤナギであるとのことだが、アキニレ、センダンなどもあり、環境学習の材料が豊富な良いフィールドといえる。環境を生かした活動につなげてもらえるとよい。</li> <li>・ワークショップで樹名板を作るなどの取り組みもよいと思う。</li> <li>・草刈り、ごみ拾いは高頻度でやられているということだが、委託業者が担っているということなので、工夫していく必要があるのではないか？ごみ拾いに参加した子供たちはゴミを捨てなくなると思う。環境教育を通して人を育てていくという気持ちで取り組んでもらいたい。</li> </ul>      | <p>前回審議意見の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回審議の意見を踏まえ、グラウンド利用者に河川敷の環境を理解していただくことを目的として令和4年度より環境学習会を実施している（令和5年度は伐木工事により中止）。</li> </ul> |
| 環境保全に向けて申請者の取り組み | <p>利用者には、事前登録時に配布する「淀川河川敷グラウンドの利用に関する要領」と「淀川河川敷グラウンド利用の手引き」にて、占用地の整理整頓・ごみの持ち帰り等清掃に努めるよう周知を図っている。</p>                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                       |
| その他              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                       |

|    |                |      |     |      |     |    |                        |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|------------------------|
| 番号 | 12. 淀川河川敷グラウンド | 占用目的 | 運動場 | 許可受者 | 枚方市 | 場所 | 左岸 31. 2k<br>左岸 27. 8k |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|------------------------|

### 3. 施設の自然環境的状况

(河川管理者作成)

|                 |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 占用地及び周辺の自然環境    |         | 《磯島グラウンド》<br>・当該占用地の前面水域は淀川本川の流水区間であり、流れのゆるい水面が連続する<br>・上流はゴルフ場となっている。<br>・対岸は淀川河川公園となっている。<br>・占地下流側の水際にはジャヤナギ・アカメヤナギ群落が見られる。<br>・水域との間にセイタカヨシ群落が見られる。<br>《牧野グラウンド》<br>・当該占用地の前面水域は淀川本川の流水区間であり、流れのゆるい水面が連続する<br>・上下流はゴルフ場となっている。<br>・上流には舟橋川が合流し、合流部は湿性植物などがみられる。<br>・対岸には鶴殿のヨシ群落が見られる。<br>・周辺では、草本群落に依存するような多くの鳥類が確認されている。                                                                                                                                                                      |
| 自然環境上重要な場所      |         | 《磯島グラウンド》<br>・占用地前面の水際には自然な植生群落などがあり、多様な環境が形成されている。<br>《牧野グラウンド》<br>・当該占用地の対岸は、淀川を代表するヨシ帯である鶴殿地区で、鳥類などにとっての重要な生息場であり、ツバメの集団ねぐら、オオヨシキリの集団繁殖地になっている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 水際の状況           | 水域までの距離 | 《磯島グラウンド》<br>・水域までの距離：約 40m<br>・水際にはジャヤナギ・アカメヤナギ群落が見られる。<br>《牧野グラウンド》<br>・水域までの距離：約 15m<br>・河岸との間に道路・ヤナギ林・オギ群落がある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                 | 水面との高低差 | 《磯島グラウンド》・約 4. 0m<br>《牧野グラウンド》・約 3. 0m                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 環境面から見た望ましい利用方針 |         | 《磯島・牧野グラウンド》<br>・水際のヨシ群落は水域とのバッファゾーンとして重要であるとともに、オオヨシキリなどの鳥類にとっての重要な生息空間・繁殖空間であることから、生物の忌避行動につながるような行為(河岸に近づく、大きな音が出るなど)は避ける必要があり、利用者に看板等で注意を促す。<br>・昆虫等の生息域となる自然環境を広げるために、占用範囲周辺にある、占用者が除草等の管理を行う管理区域等の草地の刈り残しを凶る。<br>・利用範囲認知のために、占用範囲を看板、標識等により占用範囲を明示する。<br>・環境啓発看板を設置し、利用者に周辺の貴重な環境を周知し、占用区域内での利用の遵守や環境保全への意識向上を凶る。<br>・環境啓発の一環として、利用施設周辺の清掃を行う。<br>・利用者の河川の環境保全に関する意識向上を目的として、河川レンジャーと連携した環境教育のあり方を検討する。<br>《磯島グラウンド》<br>・占有地周辺の水際に形成されたヤナギなどの高木群落は、水域との間を遮るバッファゾーンとして機能しているとみられるため、保全が必要である。 |

|    |                |      |     |      |     |    |                        |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|------------------------|
| 番号 | 12. 淀川河川敷グラウンド | 占用目的 | 運動場 | 許可受者 | 枚方市 | 場所 | 左岸 31. 2k<br>左岸 27. 8k |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|------------------------|

#### 4. 占用許可期間の更新についての意見

(委員会作成)

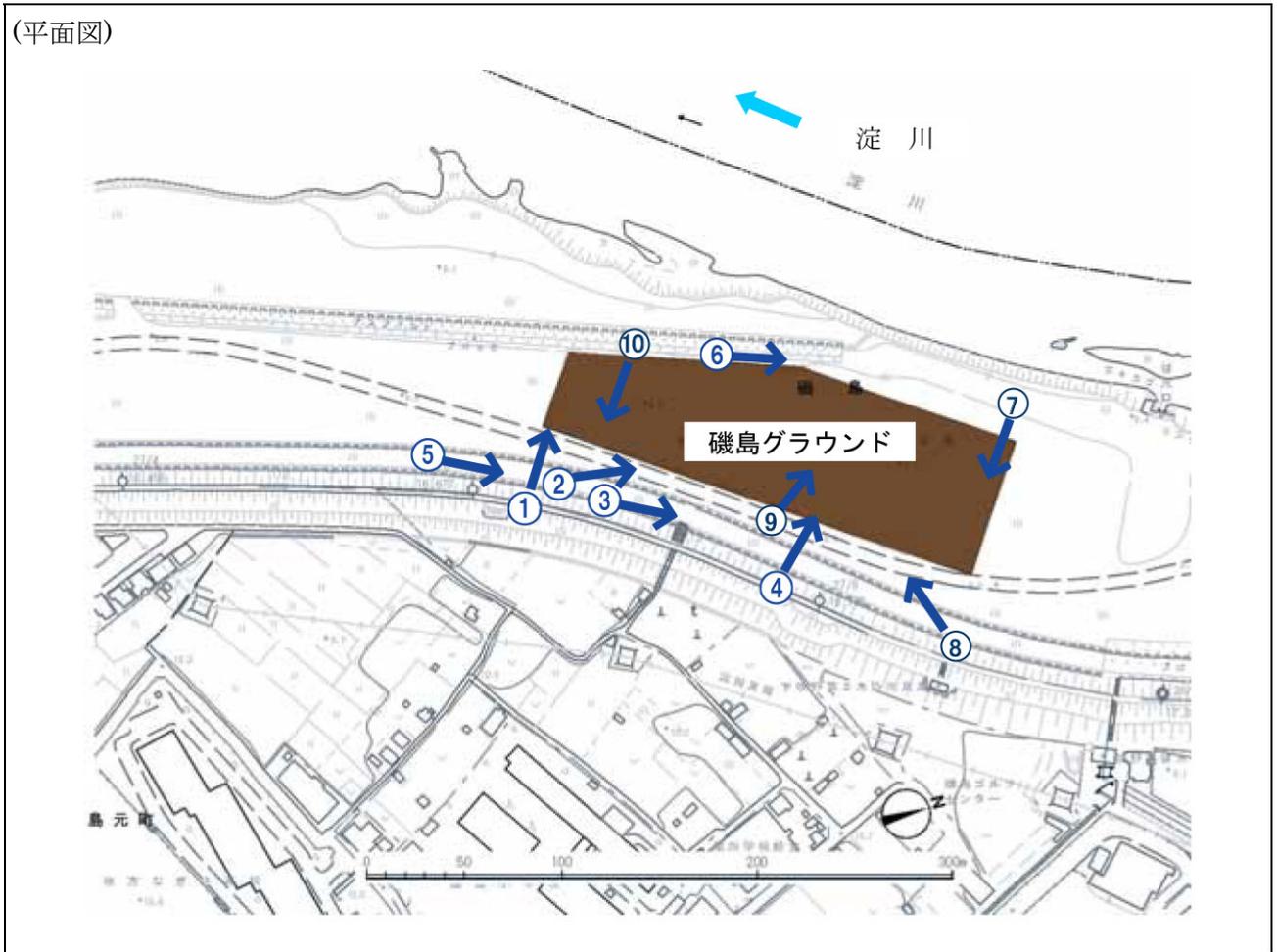
ランク：A

|    |                |      |     |      |     |    |                      |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------------------|
| 番号 | 12. 淀川河川敷グラウンド | 占用目的 | 運動場 | 許可受者 | 枚方市 | 場所 | 左岸 31.2k<br>左岸 27.8k |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------------------|

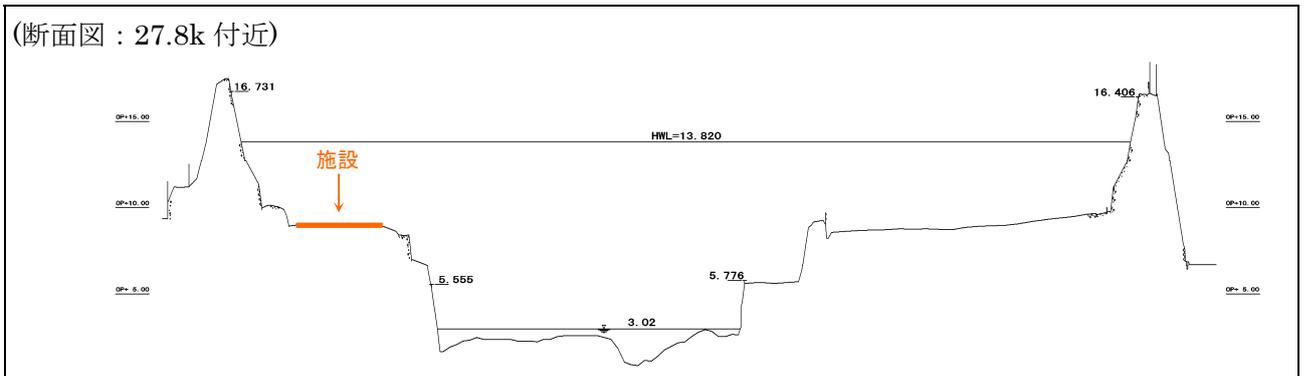
### 5. 委員会の審議内容に関わる現況写真

(写真撮影者：占用者)

(平面図)



(断面図：27.8k 付近)



① (令和7年8月12日撮影)



②



ランク：A

|    |                |      |     |      |     |    |                        |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|------------------------|
| 番号 | 12. 淀川河川敷グラウンド | 占用目的 | 運動場 | 許可受者 | 枚方市 | 場所 | 左岸 31. 2k<br>左岸 27. 8k |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|------------------------|

(占用者作成)



ランク：A

|    |                |      |     |      |     |    |                      |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------------------|
| 番号 | 12. 淀川河川敷グラウンド | 占用目的 | 運動場 | 許可受者 | 枚方市 | 場所 | 左岸 31.2k<br>左岸 27.8k |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|----------------------|

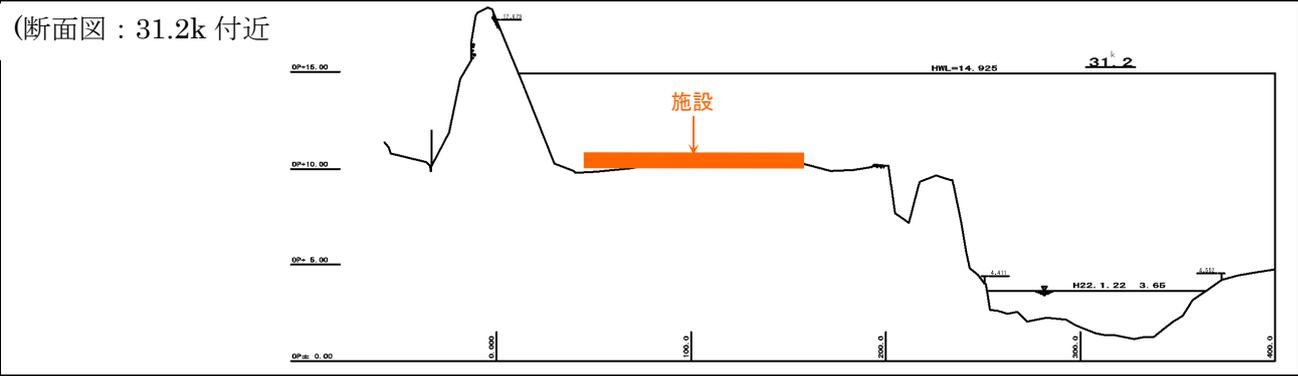
5. 委員会の審議内容に関わる現況写真

(占用者作成)

(平面図)



(断面図：31.2k 付近)



① (令和7年8月12日撮影)



②



ランク：A

|    |                |      |     |      |     |    |                        |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|------------------------|
| 番号 | 12. 淀川河川敷グラウンド | 占用目的 | 運動場 | 許可受者 | 枚方市 | 場所 | 左岸 31. 2k<br>左岸 27. 8k |
|----|----------------|------|-----|------|-----|----|------------------------|

(占用者作成)



## 【チェックリスト】

Aランク案件のチェックリストの様式(1/2)  
 ●河川保全利用チェックリスト(占用地 名称:12淀川河川敷グラウンド)

| No | 確認の視点      | 確認事項                                                                                | 過年度意見                                                                                       | 過年度意見についての対応と進捗                          | 占用者による確認                                                                           | 河川管理者による確認 | 評価欄 | 評価区分                                           | 備考 |
|----|------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----|------------------------------------------------|----|
| 1  | 占用の必要性     | 自治体等が算定する計画に当該施設の位置づけはあるか<br>※計画名を挙げたうえ、具体的な記載箇所を記す<br>(例)総合計画、都市計画、緑の基本計画等         |                                                                                             |                                          | 枚方市みどりの基本計画(p.58)<br>枚方市都市計画マスタープラン概要版(p.17~p.22)<br>枚方市地域防災計画(p.212、p.235)        |            |     | ○  ある<br>△  検討中<br>×  ない                       |    |
| 2  |            | 避難場所等の防災上の位置づけはあるか<br>(例)地域防災計画等                                                    |                                                                                             |                                          | 広域避難場所、災害時用ヘリポート                                                                   |            |     | ○  あり<br>△  検討中<br>×  ない                       |    |
| 3  |            | 境内地において代替施設を設置、又は既存施設により機能を代替する計画はあるか                                               |                                                                                             |                                          | 計画はない                                                                              |            |     | ○  あり<br>△  検討中<br>×  ない                       |    |
| 4  |            | 川らしい自然環境に影響が少ない施設に転換する計画はあるか<br>(例)・水際部の占用面積を縮小<br>・グラウンドを親水公園に変更等<br>・河川敷内で場所移動等   |                                                                                             |                                          | 計画はない                                                                              |            |     | ○  あり<br>△  検討中<br>×  ない                       |    |
| 5  | 検討体制       | 占用施設の代替地の検討や自然環境に影響が少ない施設への転換に向けて、環境やまちづくりの関係部局と連携しているか<br>※連携部局がある場合には、その名称も合わせて記す |                                                                                             |                                          | 公園部局の「枚方市みどりの基本計画」の内容を共有している程度                                                     |            |     | ○  連携している<br>△  検討中<br>×  連携していない              |    |
| 6  | 占用目的       | 占用目的は「川らしい利用、川でなければならぬ利用」に合致するか                                                     |                                                                                             |                                          | 利用には周辺環境に配慮しながら利用してもらっている。定期的に草刈りやトイレの清掃やごみ収集等を行っている。                              |            |     | ○  合致する<br>△  一部合致する<br>×  合致しない               |    |
| 7  |            | 特定の利用者・団体に限定せず、公平な利用ができるか                                                           |                                                                                             |                                          | グラウンド利用者については事前に登録制をとっているため、利用内容や利用主体を把握している。利用希望が重複した場合には抽選を行い、公平な利用ができるようになっている。 |            |     | ○  公平に利用できる<br>△  公平に利用できない場合がある<br>×  特定の者が利用 |    |
| 8  |            | 利用状況は占用目的に合致しているか                                                                   |                                                                                             |                                          | 合致している。<br>多目的グラウンドとして市民に貸出しを行っている。                                                |            |     | ○  合致している<br>△  合致していない場合がある<br>×  合致していない     |    |
| 9  | 連携体制       | 「川らしい利用、川でなければならぬ利用」に関する取組について、施設利用者や地域住民、市民団体等と連携しているか                             | ワークショップで街名板を作るなどの取り組みもよいと思う。                                                                | 施設利用者に対して環境学習会を実施している。                   | 施設利用者に対して環境学習会を実施している。                                                             |            |     | ○  連携している<br>△  検討中<br>×  連携していない              |    |
| 10 | 自然環境の保全・再生 | 保全すべき動植物など、占用区域及びその付近の自然環境で配慮すべき事項を把握しているか<br>(例)貴重種の生育・生息地、ヨシ原、干潟、野鳥の営巣地、外来種の繁殖等   | 周辺の樹木が特徴的だった。枚方市の木はヤナギであることなどが、アキニシ、センダンなどもあり、環境学習の材料が豊富で良いフィールドといえる。環境を生かした活動につなげてもらえるように。 | 施設利用者に対して環境学習会を実施している。環境学習会の材料として活用している。 | 占用地に関する勉強会で把握している。                                                                 |            |     | ○  把握している<br>△  調査中<br>×  連携していない              |    |
| 11 |            | 占用区域及びその付近において、水位変動により冠水・攪乱される区域を把握しているか                                            |                                                                                             |                                          | 過去の冠水事例で把握している。(平成29年10月 台風21号)                                                    |            |     | ○  把握している<br>△  調査中<br>×  連携していない              |    |

Aランク案件のチェックリストの様式(2/2)

記入者：(枚方市スポーツ振興課)

●河川保全利用チェックリスト(占用地 名称:12淀川河川敷グラウンド)

| No | 確認の視点 | 確認事項                                                                          | 過年度意見                                                                                                                | 過年度意見についての対応と進捗            | 占者による確認                                                 | 河川管理者による確認 | 河川保全利用委員会の意見 | 評価区分                                      | 備考 |
|----|-------|-------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|---------------------------------------------------------|------------|--------------|-------------------------------------------|----|
| 12 | 確認の視点 | 施設整備は河川の生態系の連続性(縦断方向及び横断方向)の確保など自然環境に配慮しているか<br>(例)水際部に緩衝緑地を設置等               | 過年度意見                                                                                                                | 過年度意見についての対応と進捗            | 占者による確認                                                 | 河川管理者による確認 | 河川保全利用委員会の意見 | 評価区分                                      | 備考 |
| 13 |       | 管理運営は占用区域及びその付近の自然環境の保全・再生に配慮しているか<br>(例)投棄されたゴミの収集、除草時の水際部刈り残し、野鳥の営巣時期の利用制限等 |                                                                                                                      |                            | 利用者に對してごみ等を道中に捨てないこと、使用後は整備・清掃をお願いしている。また清掃を毎週行っている。    |            |              | ○:配慮している<br>△:検討中<br>×:配慮していない            |    |
| 14 |       | 施設利用者が占用区域及びその付近の自然環境に関する情報発信、注意喚起を行っているか<br>(例)情報板設置による環境配慮への啓発等             |                                                                                                                      |                            | 施設利用者に対して環境学習会を実施している。                                  |            |              | ○:行っている<br>△:検討中<br>×:行っていない              |    |
| 15 |       | 占用区域及びその付近の自然環境を活かした環境学習・保全活動を行っているか                                          |                                                                                                                      |                            | 行っていない。(R4年8月時点)                                        |            |              | ○:行っている<br>△:検討中<br>×:行っていない              |    |
| 16 | 適正な利用 | 不許可の工作物は設置されていないか                                                             |                                                                                                                      |                            | 設置されていない。                                               |            |              | ○:設置されていない<br>△:設置される場合がある<br>×:設置されている   |    |
| 17 |       | 占用区域外を使用していないか<br>(例)トイレ、道具入れ等の工作物設置・グラウンド、駐車場等の造成・利用等                        |                                                                                                                      |                            | 使用していない。                                                |            |              | ○:使用していない<br>△:使用している場合がある<br>×:使用している    |    |
| 18 |       | 占用施設及びその利用者が自然観察や水面利用(カヌー、釣り等)などを行う河川利用者の水辺へのアクセスの支障になっていないか                  |                                                                                                                      |                            | 支障になっていない。                                              |            |              | ○:支障はない<br>△:支障になる場合がある<br>×:支障がある        |    |
| 19 |       | 地域住民の迷惑になる利用がなされていないか<br>(例)施設利用者によるゴミの投棄、車両通行や路上駐車による交通問題、騒音等                |                                                                                                                      |                            | 硬式野球をしている団体があると通告を市民から受けたことがある。利用者全体注意喚起の手紙を送付している。     |            |              | ○:迷惑な利用はない<br>△:迷惑になる場合がある<br>×:迷惑な利用がある  |    |
| 20 |       | 利用状況をふまえた管理運営・利用のルールを定めているか                                                   |                                                                                                                      |                            | 淀川河川敷グラウンドの利用に関する要領及び淀川河川敷グラウンドよりの手引きにて利用者の順守事項をまとめている。 |            |              | ○:定めている<br>△:検討中<br>×:定めていない              |    |
| 21 |       | 管理運営・利用のルールに自然環境の保全・再生に関する事項は定めているか                                           |                                                                                                                      |                            | 利用者の順守事項として、周辺環境に配慮するよう周知を行っている。                        |            |              | ○:定めている<br>△:検討中<br>×:定めていない、又はルールを定めていない |    |
| 22 |       | 管理運営・利用のルールは施設利用者及び管理運営者に周知しているか                                              | 草刈り、ごみ拾いは高頻度でやられていることだが、委託業者が担っていることと、工夫していく必要があるのではないか?ゴミ拾いに参加した子供たちはゴミを捨てなくなると思う。環境教育を通して人を育てていくという気持ちで取り組んでもらいたい。 | 環境学習会等において、施設利用者には呼びかけていく。 | 利用者には発着時に淀川河川敷グラウンドの利用に関する要領及び淀川河川敷利用の手引きを渡している。        |            |              | ○:定めている<br>△:検討中<br>×:定めていない、又はルールを定めていない |    |

## 【参考資料】 河川保全利用委員会速記録

(関連部分のみ抜粋)

■過年度審議結果のレビュー

平成19年 委員会

- ✓ 川らしい自然環境を保全・再生するという基本姿勢に立ち、人と川とのつながりを重視した施設の利用と管理にあたること  
⇒毎年、クリーンアップキャンペーンとして清掃活動を実施している
- ✓ 占用地周辺の自然環境に配慮し、共存するための方策等についても検討して欲しい  
⇒許可の際に自然環境保全にかかるパンフレットを配布し、利用後の清掃等を義務付けている(磯島グラウンド)  
⇒利用団体登録時に、自然との共存や美化活動について説明している

平成20年 委員会

- ✓ 占用使用する施設が公共用地の一部であることを認識し、整理整頓・清掃などの環境整備に努めて欲しい  
⇒利用団体に環境問題、ゴミ問題についてのチラシを配布している
- ✓ 占用地の周辺には草地、水際地帯が存在し、河川固有の貴重な自然環境があるため、これらの保全・再生を念頭に利用と管理にあたること  
⇒水際の草は残すなど、自然保護の観点を重視して草刈を実施している
- ✓ 利用者数を十分に把握すること
- ✓ 広く区民が自然環境に親しむことができる場になるよう利用形態を検討すること  
⇒利用者以外の方が気持ちよく利用できるように清掃を行っている
- ✓ 広く区民が利用できるように、管理組織の設立と利用基準の設定に取り組んで欲しい  
⇒淀川グラウンドの貸出に関する要綱で、貸出に関する必要事項を定めている

20

■過年度審議結果のレビュー

平成24年 委員会

- ✓ 河川敷グラウンドの貸出に関する要には、河川環境への配慮について記載して欲しい  
⇒淀川河川敷の利用に関する要綱にて、利用者に環境に影響を及ぼさないような利用を求めている
- ✓ 都市公園部局と連携をとってほしい  
⇒公園部局と打合せを行い、現状の課題について共有を図った

平成28年 委員会

- ✓ 利用者に対し、手引きを作成し配布していることは評価できる。今後も適正な管理と利用がなされるように努めて欲しい
- ✓ 河川を利用することで、利用者が周辺環境への理解を深めることができるように努めて欲しい
- ✓ 清掃活動について、誰が、どの程度実施しているのか具体的に記載して欲しい

令和元年 委員会

- ✓ 利用者に対し、河川環境への理解を深めるような取り組みについて、関係する他部署と連携した取り組みを進められたい
- ✓ グラウンドから水辺へのアクセスについても、占用地の「周辺環境」として管理されるとよい

21

## ■過年度審議結果のレビュー

## 令和4年 委員会

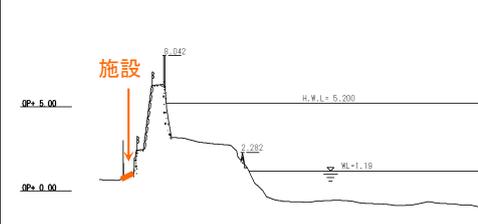
- ✓ 周辺の樹木が特徴的だった。枚方市の木はヤナギであるとのことだが、アキニレ、センダンなどもあり、環境学習の材料が豊富な良いフィールドといえる。環境を生かした活動につなげてもらえるとよい。
- ✓ ワークショップで樹名板を作るなどの取り組みもよいと思う。
- ✓ 草刈り、ごみ拾いは高頻度でやられているということだが、委託業者が担っているとのことで、工夫していく必要があるのではないか？ごみ拾いに参加した子供たちはゴミを捨てなくなると思う。環境教育を通して人を育てていくという気持ちで取り組んでもらいたい。

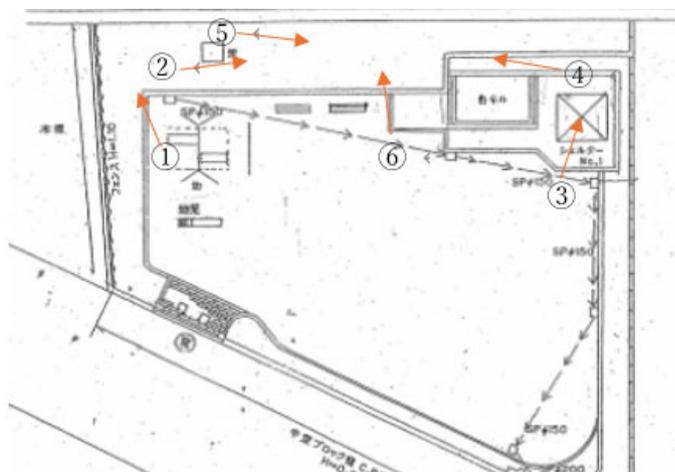
# 1. 伝法北公園 (大阪市)

記入者： 扇町公園事務所

|       |          |      |    |      |     |    |            |
|-------|----------|------|----|------|-----|----|------------|
| 番号    | 1. 伝法北公園 | 占用目的 | 公園 | 許可受者 | 大阪市 | 場所 | 左岸3.0k+50m |
| ランク:C |          |      |    |      |     |    |            |

(占用者作成)

|            |                                                                                                                         |                                       |                                               |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 位置図        |                                        | 現況写真                                  | 別紙のとおり                                        |
| 標準断面       |                                        | 現在の利用形態                               | 遊戯施設等                                         |
|            |                                                                                                                         | 占用面積                                  | 50.40 m <sup>2</sup>                          |
| 許可の経緯      | <当初許可>S43.05.01<br><許可期限>R9.3.31                                                                                        | 都市計画の有無                               | 無                                             |
| 堤内地・堤防・堤外地 | 堤内地 ・ 堤防 ・ 堤外地                                                                                                          | 付帯施設等                                 | コンクリートブロック L=1.8m<br>フェンス L=1.8m<br>石垣 L=1.8m |
| 特記事項       | 特になし                                                                                                                    |                                       |                                               |
| 前回審議意見と対応  | 前回審議の意見                                                                                                                 | 前回審議意見の対応                             |                                               |
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>外来種に対しても適切な管理がなされている。現状を継続されたい</li> <li>巡回の頻度、管理の状況等について、様式の回答に明記されたい</li> </ul> | 外来種の適切な管理を行い、また、年二回の定期点検及び適宜巡回を行っている。 |                                               |



①

②



③



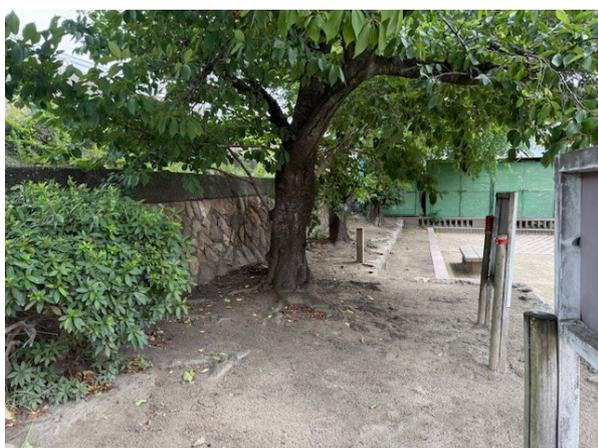
④



⑤



⑥



## 【チェックリスト】

Cラック案件のチェックリストの様式  
 ●河川保全利用チェックリスト(占用地 名称:1伝法北公園)

| No | 確認の視点      | 確認事項                                                                              | 過年度意見 | 過年度意見についての対応と進捗 | 占用者による確認                                     | 河川管理者による確認 | 河川保全利用委員会の意見 | 評価欄 | 評価区分                                        | 備考 |
|----|------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------|----------------------------------------------|------------|--------------|-----|---------------------------------------------|----|
| 1  | 占用の必要性     | 自治等が決定する計画に当該施設の位置づけはあるか<br>※計画名を挙げたうえ、具体的な記載箇所を記す<br>(例)総合計画、都市計画、緑の基本計画等        |       |                 | 位置づけなし                                       |            |              |     | O:ある<br>△:検討中<br>×:ない                       |    |
| 2  |            | 避難場所等の防災上の位置づけはあるか<br>(例)地域防災計画等                                                  |       |                 | 大阪地域防災計画にて、一時避難所として位置付けられている。                |            |              |     | O:ある<br>△:検討中<br>×:ない                       |    |
| 3  |            | 堤内地において代替施設を設置、又は既存施設により機能を代替する計画はあるか                                             |       |                 | 該当しない                                        |            |              |     | O:ある<br>△:検討中<br>×:ない                       |    |
| 7  | 占有目的       | 特定の利用者・団体に限定せず、公平な利用ができるか                                                         |       |                 | 可能(都市公園の自由利用の原則)                             |            |              |     | O:公平に利用できる<br>△:公平に利用できない場合がある<br>×:特定の者が利用 |    |
| 8  |            | 利用状況は占有目的に合致しているか                                                                 |       |                 | 合致している                                       |            |              |     | O:合致している<br>△:合致していない場合がある<br>×:合致していない     |    |
| 10 | 自然環境の保全・再生 | 保全すべき動植物など、占有区域及びその付近の自然環境で配慮すべき事項を把握しているか<br>(例)貴重種の生育・生息地、ヨシ原、干潟、野鳥の営巣地、外来種の繁殖等 |       |                 | 植栽を行う際は河川保全利用委員会の意見を踏まえ、外来種についても適切に管理を行っている。 |            |              |     | O:把握している<br>△:調査中<br>×:連携していない              |    |
| 16 | 適正な利用      | 不許可の工作物は設置されていないか                                                                 |       |                 | 設置されていない                                     |            |              |     | O:設置されていない<br>△:設置される場合がある<br>×:設置されている     |    |
| 17 |            | 占有区域外を使用していないか<br>(例)トイレ、道具入れ等の工作物設置・グラウンド、駐車場等の造成・利用等                            |       |                 | 使用していない                                      |            |              |     | O:使用していない<br>△:使用している場合がある<br>×:使用している      |    |
| 19 |            | 地域住民の迷惑になる利用がなされていないか<br>(例)施設利用者によるゴミの投棄、車両通行や路上駐車による交通問題、騒音等                    |       |                 | 迷惑になる利用はない                                   |            |              |     | O:迷惑な利用はない<br>△:迷惑になる場合がある<br>×:迷惑な利用がある    |    |
| 20 |            | 利用状況をふまえた管理運営・利用のルールを定めているか                                                       |       |                 | 定めている。(大阪府公園条例において、都市公園の清掃や汚屑等について禁止している。)   |            |              |     | O:定めている<br>△:検討中<br>×:決めていない                |    |
| 22 |            | 管理運営・利用のルールは施設利用者及び管理運営者に周知しているか                                                  |       |                 | 周知している(ホームページに掲載)                            |            |              |     | O:定めている<br>△:検討中<br>×:決めていない、又はルールを定めていない   |    |

## 【参考資料】河川保全利用委員会速記録

(関連部分のみ抜粋)

■過年度審議結果のレビュー

平成22年 委員会

✓ 植栽を行う際は外来種の生息、生育区域が拡大しないよう種の選定等に配慮を行うこと

平成27年 委員会

✓ (前回指摘に対する回答)  
⇒配慮を行い、巡回の際は注意しながら管理をした

令和2年 委員会

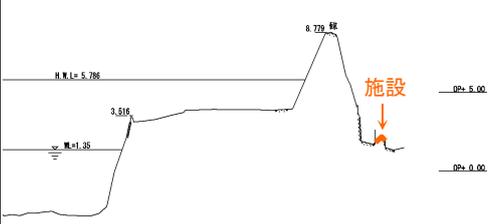
✓ 外来種に対しても適切な管理がなされている。現状を継続されたい  
✓ 巡回の頻度、管理の状況等について、様式の回答に明記されたい

## 2. 淀川公園 (大阪市)

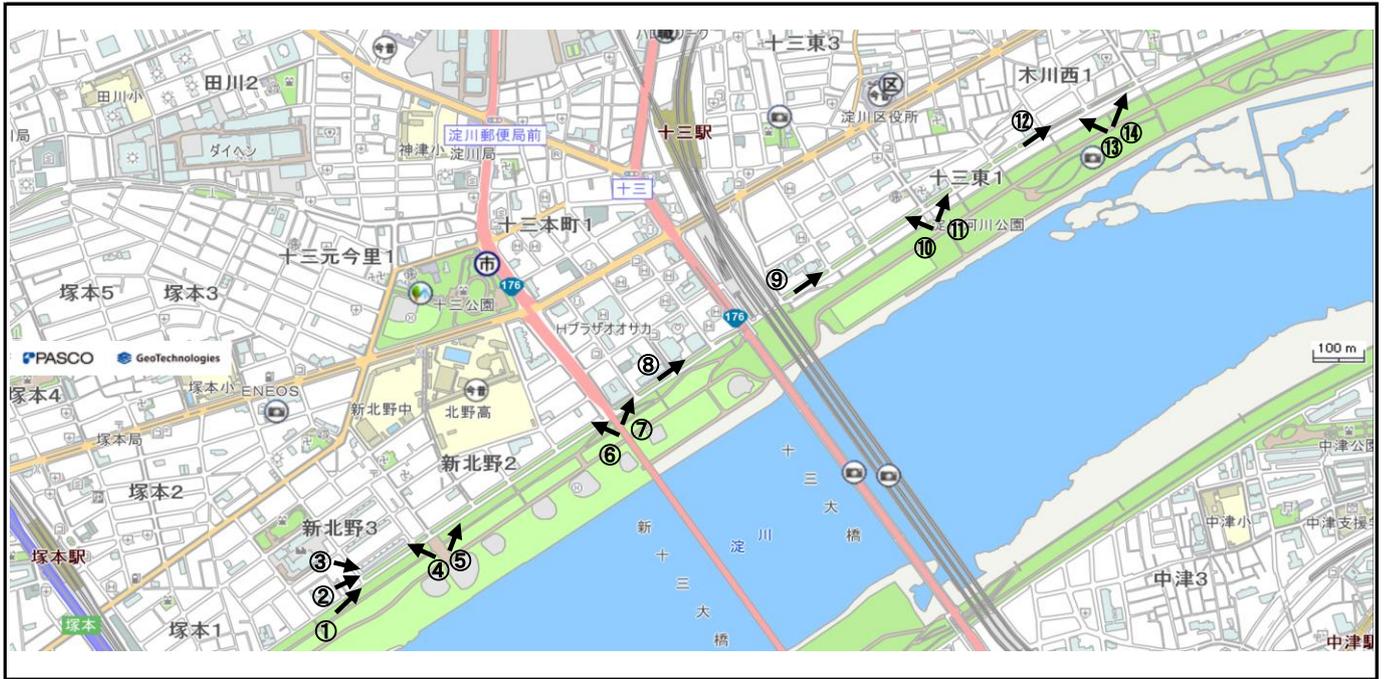
記入者： 大阪市建設局 十三公園事務所

|       |         |      |    |      |     |    |                               |
|-------|---------|------|----|------|-----|----|-------------------------------|
| 番号    | 2. 淀川公園 | 占用目的 | 公園 | 許可受者 | 大阪市 | 場所 | 右岸7.0k+60m付近～<br>右岸6.0k+90m付近 |
| ランク:C |         |      |    |      |     |    |                               |

(占用者作成)

|            |                                                                                                                                                                    |                                                                                                    |                                                                                    |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 位置図        |                                                                                   | 現況写真                                                                                               |  |
| 標準断面       |                                                                                   | 現在の利用形態                                                                                            | —                                                                                  |
|            |                                                                                                                                                                    | 占用面積                                                                                               | 3250.46 m <sup>2</sup>                                                             |
| 許可の経緯      | <当初許可>H09.04.01<br><許可期限>R09.3.31                                                                                                                                  | 都市計画の有無                                                                                            | 有(都市計画公園)                                                                          |
| 堤内地・堤防・堤外地 | 堤内地・堤防・堤外地                                                                                                                                                         | 付帯施設等                                                                                              | ・木製遊具 5.4m<br>・ベンチ 8.0m<br>・公園灯 16基 等                                              |
| 特記事項       | 特になし                                                                                                                                                               |                                                                                                    |                                                                                    |
| 前回審議意見と対応  | 前回審議の意見                                                                                                                                                            | 前回審議意見の対応                                                                                          |                                                                                    |
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・堤内地の公園として、造園・植栽的管理がきちとなされている。現状を継続されたい。</li> <li>・外来の園芸種「イモカタバミ」の繁茂が見られた。花がきれいだが繁殖力が強いので、河川敷に進出しないように適正に管理されたい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正管理に努め、現状を維持する。</li> <li>・河川敷に進出しないよう適正に管理を行う。</li> </ul> |                                                                                    |

# 淀川公園現況写真



① 令和7年8月19日撮影



② 令和7年8月19日撮影



③ 令和7年8月19日撮影



④ 令和7年8月19日撮影



⑤ 令和7年8月19日撮影



⑥ 令和7年8月19日撮影



⑦

令和7年8月19日撮影



⑧

令和7年8月19日撮影



⑨

令和7年8月19日撮影



⑩

令和7年8月19日撮影



⑪

令和7年8月19日撮影



⑫

令和7年8月19日撮影



⑬

令和7年8月19日撮影



⑭

令和7年8月19日撮影



## 【チェックリスト】

Cランク案件のチェックリストの様式  
●河川保全利用チェックリスト(占用地 名称:2淀川公園)

| No | 確認の視点      | 確認事項                                                                              | 過年度意見                                                        | 過年度意見についての対応と進捗     | 占用者による確認                                   | 河川管理者による確認 | 河川保全利用委員会の意見 | 評価区分                                        | 備考 |
|----|------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|---------------------|--------------------------------------------|------------|--------------|---------------------------------------------|----|
| 1  | 占用の必要性     | 自治等が決定する計画に当該施設の位置づけはあるか<br>※計画名を挙げたうえ、具体的な記載箇所を記す<br>(例)総合計画、都市計画、緑の基本計画等        |                                                              |                     | 有(大阪市都市計画において、都市計画公園として位置付けられている)          |            |              | ○:ある<br>△:検討中<br>×:ない                       |    |
| 2  |            | 避難場所等の防災上の位置づけはあるか<br>(例)地域防災計画等                                                  |                                                              |                     | 大阪地域域防災計画にて、一時避難所として位置付けられている              |            |              | ○:ある<br>△:検討中<br>×:ない                       |    |
| 3  |            | 堤内地において代替施設を設置、又は既存施設により機能を代替する計画はあるか                                             |                                                              |                     | 該当しない                                      |            |              | ○:ある<br>△:検討中<br>×:ない                       |    |
| 7  | 占有目的       | 特定の利用者・団体に限定せず、公平な利用ができるか                                                         |                                                              |                     | 可能(都市公園の自由利用の原則)                           |            |              | ○:公平に利用できる<br>△:公平に利用できない場合がある<br>×:特定の者が利用 |    |
| 8  |            | 利用状況は占有目的に合致しているか                                                                 |                                                              |                     | 合致している                                     |            |              | ○:合致している<br>△:合致していない場合がある<br>×:合致していない     |    |
| 10 | 自然環境の保全・再生 | 保全すべき動植物など、占有区域及びその付近の自然環境で配慮すべき事項を把握しているか<br>(例)貴重種の生育・生息地、ヨシ原、干潟、野鳥の営巣地、外来種の繁殖等 | 外来の園芸種「イモカタバミ」の繁殖が戻られた。花がきれいだが繁殖力が強いので、河川敷に運出しないよう適正に管理されたい。 | 河川敷に運出しないよう適正に管理を行う | 把握している                                     |            |              | ○:把握している<br>△:調査中<br>×:運搬していない              |    |
| 16 | 適正な利用      | 不許可の工作物は設置されていないか                                                                 |                                                              |                     | 設置されていない                                   |            |              | ○:設置されていない<br>△:設置される場合がある<br>×:設置されている     |    |
| 17 |            | 占有区域外を使用していないか<br>(例)トイレ、通入れ等の工作物設置・グラウンド、駐車場等の造成・利用等                             |                                                              |                     | 使用していない                                    |            |              | ○:使用していない<br>△:使用している場合がある<br>×:使用している      |    |
| 19 |            | 地域住民の迷惑になる利用がなされていないか<br>(例)施設利用者によるゴミの投棄、車両通行や路上駐車による交通問題、騒音等                    |                                                              |                     | 迷惑になる利用はない                                 |            |              | ○:迷惑な利用はない<br>△:迷惑になる場合がある<br>×:迷惑な利用がある    |    |
| 20 |            | 利用状況をふまえた管理運営・利用のルールを定めているか                                                       | 提内地の公園として、造園・植栽的管理がきちんとなされている。現状を継続されたい。                     | 適正管理に努め、現状を維持する     | 定めている。(大阪市公園条例において、都市公園の整備や汚損等について禁止している。) |            |              | ○:定めている<br>△:検討中<br>×:定めていない                |    |
| 22 |            | 管理運営・利用のルールは施設利用者及び管理運営者に周知しているか                                                  |                                                              |                     | 周知している(ホームページに掲載)                          |            |              | ○:定めている<br>△:検討中<br>×:定めていない、又はルールを定めていない   |    |

## 【参考資料】 河川保全利用委員会速記録

(関連部分のみ抜粋)

■過年度審議結果のレビュー

平成22年 委員会

✓ 植栽を行う際は外来種の生息、生育区域が拡大しないよう種の選定に配慮を行うこと

平成27年 委員会

✓ (前回指摘に対する回答)  
⇒植栽を行う際は外来種が拡大しないよう種の選定に配慮した

令和2年 委員会

✓ 堤内地の公園として、造園・植栽的管理がきちんとなされている。現状を継続されたい。  
✓ 外来の園芸種「イモカタバミ」の繁茂が見られた。花がきれいだが繁殖力が強いので、河川敷に進出しないように適正に管理されたい。

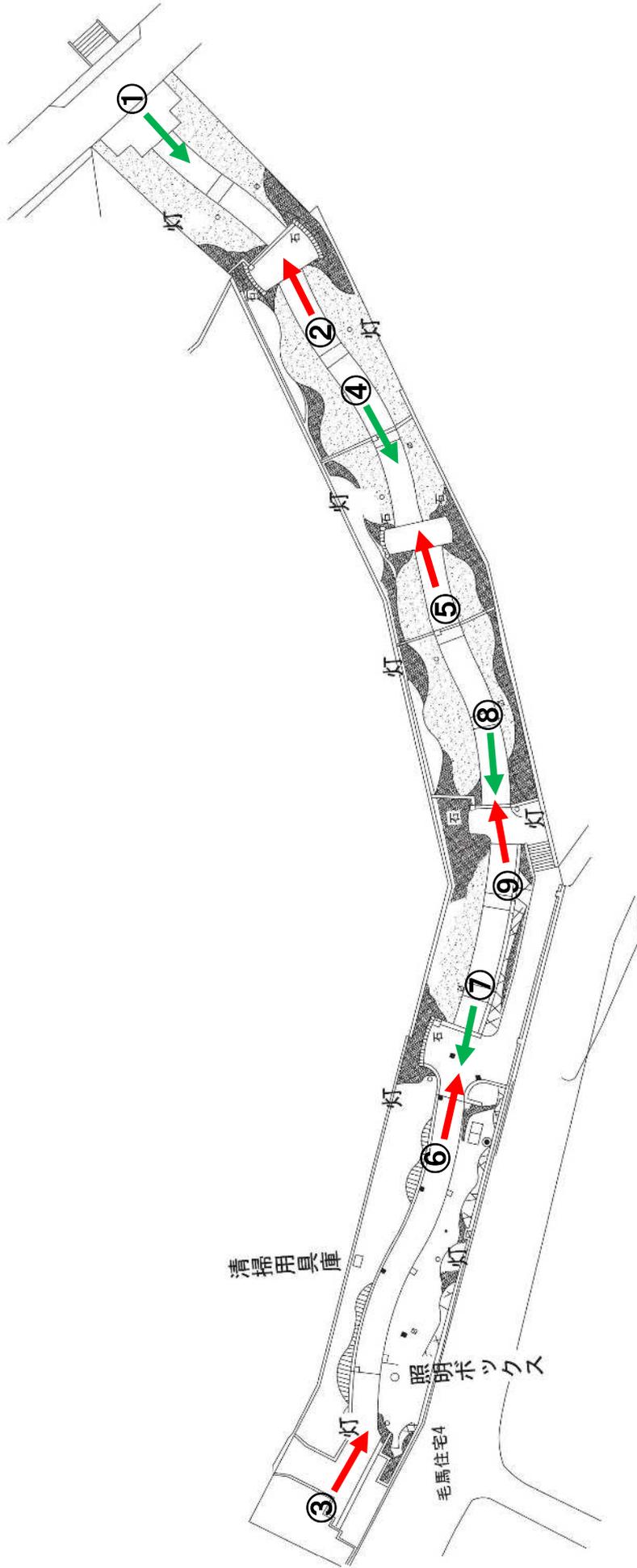
## 8. 公園 城北緑道 (大阪市)

記入者：大阪市建設局 鶴見緑地公園事務所

|       |           |      |    |      |     |    |              |
|-------|-----------|------|----|------|-----|----|--------------|
| 番号    | 8.公園 城北緑道 | 占用目的 | 公園 | 許可受者 | 大阪市 | 場所 | 左岸11.0k+120m |
| ランク:C |           |      |    |      |     |    |              |

(占有者作成)

|            |                                                                                                                                         |         |                                                                                                                                                 |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 位置図        |                                                                                                                                         | 現況写真    | 別紙のとおり                                                                                                                                          |
| 標準断面       |                                                                                                                                         | 現在の利用形態 | 都市計画公園 (城北緑道)                                                                                                                                   |
|            |                                                                                                                                         | 占用面積    | 285.66 m <sup>2</sup>                                                                                                                           |
| 許可の経緯      | <当初許可>H14.04.01<br><許可期限>R8.8.31                                                                                                        | 都市計画の有無 | 有 (都市計画公園)                                                                                                                                      |
| 堤内地・堤防・堤外地 | 堤内地 ● 堤防 ● 堤外地                                                                                                                          | 付帯施設等   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・転落防止柵 23.0m</li> <li>・散水栓 1基</li> <li>・照明灯 1基 等</li> </ul>                                              |
| 特記事項       | 特になし                                                                                                                                    |         |                                                                                                                                                 |
| 前回審議意見と対応  | 前回審議の意見                                                                                                                                 |         | 前回審議意見の対応                                                                                                                                       |
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接する都市再生機構占用地と連続して適切に管理されている。現状を継続されたい。</li> <li>・草刈りについては、虫など小動物の生息場としての機能にも配慮されたい。</li> </ul> |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市再生機構占用地と連続した管理を継続する。</li> <li>・草刈りを行う際は、公園利用者が快適に利用出来る管理を基本とし、且つ、虫などの小動物の生息場所としての機能にも配慮する。</li> </ul> |



【現況写真】



⑦



⑧



⑨



## 【チェックリスト】

Cラック案件のチェックリストの様式  
●河川保全利用チェックリスト(占用地 名称：8城北緑道)

| No | 確認の視点      | 確認事項                                                                              | 過年度意見                                  | 過年度意見についての対応と進捗                                           | 占用者による確認                                          | 河川管理者による確認 | 評価区分                                        | 備考 |
|----|------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|------------|---------------------------------------------|----|
| 1  | 占用の必要性     | 自治等が決定する計画に当該施設の位置づけはあるか<br>※計画名を挙げたうえ、具体的な記載箇所を記す<br>(例)総合計画、都市計画、緑の基本計画等        |                                        |                                                           | 有(大阪市都市計画において、都市計画公園として位置づけられている)                 |            | ○:ある<br>△:検討中<br>×:ない                       |    |
| 2  |            | 避難場所等の防災上の位置づけはあるか<br>(例)地域防災計画等                                                  |                                        |                                                           | 一時避難場所(大阪市地域防災計画)であり、広域避難場所である淀川河川公園へのアクセスともなっている |            | ○:ある<br>△:検討中<br>×:ない                       |    |
| 3  |            | 堤内地において代替施設を設置、又は既存施設により機能を代替する計画はあるか                                             |                                        |                                                           | 該当しない                                             |            | ○:ある<br>△:検討中<br>×:ない                       |    |
| 7  | 占有目的       | 特定の利用者・団体に限定せず、公平な利用ができるか                                                         |                                        |                                                           | 可能(都市公園の自由利用の原則)                                  |            | ○:公平に利用できる<br>△:公平に利用できない場合がある<br>×:特定の者が利用 |    |
| 8  |            | 利用状況は占有目的に合致しているか                                                                 |                                        |                                                           | 合致している                                            |            | ○:合致している<br>△:合致していない場合がある<br>×:合致していない     |    |
| 10 | 自然環境の保全・再生 | 保全すべき動植物など、占有区域及びその付近の自然環境で配慮すべき事項を把握しているか<br>(例)貴重種の生育・生息地、ヨシ原、干潟、野鳥の営巣地、外来種の繁殖等 | 草刈りについては、虫など小動物の生息場としての機能にも配慮されたい      | 草刈りを行う際は、公園利用者の快適利用に出来る管理を基本とし、目づ、虫などの小動物の生息場としての機能にも配慮する | 権限を行う際は河川保全利用委員会の意見を踏まえる                          |            | ○:把握している<br>△:調査中<br>×:運務していない              |    |
| 16 | 適正な利用      | 不許可の工作物は設置されていないか                                                                 |                                        |                                                           | 設置されていない                                          |            | ○:設置されていない<br>△:設置される場合がある<br>×:設置されている     |    |
| 17 |            | 占有区域外を使用していないか<br>(例)トイレ、道入れ等の工作物設置・グラウンド、駐車場等の造成・利用等                             |                                        |                                                           | 使用していない                                           |            | ○:使用していない<br>△:使用している場合がある<br>×:使用している      |    |
| 19 |            | 地域住民の迷惑になる利用がなされていないか<br>(例)施設利用者によるゴミの投棄、車両通行や路上駐車による交通問題、騒音等                    |                                        |                                                           | 迷惑になる利用はない                                        |            | ○:迷惑な利用はない<br>△:迷惑になる場合がある<br>×:迷惑な利用がある    |    |
| 20 |            | 利用状況をふまえた管理運営・利用のルールを定めているか                                                       | 隣接する都市再生機構占有地と連続して適切に管理されている。現状を継続されたい | 都市再生機構占有地と連続した管理を継続する。                                    | 定めている。(大阪市公園条例において、都市公園の損傷や汚損等について禁止している。)        |            | ○:定めている<br>△:検討中<br>×:定めていない                |    |
| 22 |            | 管理運営・利用のルールは施設利用者及び管理運営者に周知しているか                                                  |                                        |                                                           | 周知している(ホームページに掲載)                                 |            | ○:定めている<br>△:検討中<br>×:定めていない、又はルールを定めていない   |    |

## 【参考資料】河川保全利用委員会速記録

(関連部分のみ抜粋)

## ■過年度審議結果のレビュー

## 平成19年 委員会

✓ 植栽を行う際は外来種の生息、生育区域が拡大しないよう種の選定等に配慮を行う

## 平成22年 委員会

✓ 植栽を行う際は外来種の生息、生育区域が拡大しないよう種の選定等に配慮を行う  
⇒植栽を行う際は河川保全利用委員会の意見を踏まえる  
✓ 自然環境保全の管理基準の策定に取り組むこと

## 平成27年 委員会

✓ 自然環境保全の管理基準の策定に取り組むこと  
⇒大阪市公園条例において、都市公園の損傷や汚損等について禁止している

## 令和2年 委員会

✓ 隣接する都市再生機構占用地と連続して適切に管理されている。現状を継続されたい。  
✓ 草刈りについては、虫など小動物の生息場としての機能にも配慮されたい。